

高濱河和間	金二十錢	金十五錢	大濱川	金十錢	金十錢
高濱大濱間	金十五錢	金二十錢	大濱川	金十錢	金十錢
最大濱東京間	金九十五錢	金二十錢	大濱川	金十錢	金十錢
大濱名古屋間	金二十錢	金十五錢	大濱川	金十錢	金十錢
大濱豐橋間	金二十錢	金十五錢	大濱川	金十錢	金十錢
大濱岡崎間	金十五錢	金十五錢	大濱川	金十錢	金十錢
大濱中田間	金十錢	金十五錢	大濱川	金十錢	金十錢
大濱武豐間	金十錢	金十五錢	大濱川	金十錢	金十錢
大濱安城間	金十錢	金十五錢	大濱川	金十錢	金十錢

○逓信省告示第三百三十九號
本年二月十四日ヨリ左記郵便局ヲ移轉セリ

逓信大臣 男爵後藤新平
現在位置 横濱市神奈川町字ニッ谷
移轉位置 横濱市青木町

○逓信省告示第三百四十號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス
明治四十三年三月十六日

逓信大臣 男爵後藤新平
現在位置 大阪府東成郡中本村
移轉位置 大阪府東成郡中道郵便局

○逓信省告示第三百四十一號

本年四月以降郵便局所ニ於テ取扱フ年金、恩給、遺族扶助料及退職料等ノ支給期日ハ當該支給期月ノ十一日ヨリ二十日迄トス但シ東京市内ニ在ル郵便局ニ於テ支給スヘキモノハ左ノ期日ニ依ル
十一月ヨリ十五日マテ
十一月ヨリ十五日マテ
文官恩給學校職員並巡查看守退職料同上遺族扶助料

陸軍並海軍恩給同上遺族扶助料

一時限ノ給與金ニ付テハ前項ノ期日ニ拘ハラズ之ヲ支給ス

十六日ヨリ二十日マテ

郵便局所ニ於ケル給與金ノ支給事務取扱時間ハ郵便爲替貯金受拂ノ例ニ依ル

明治四十三年三月十七日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百四十二號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十三年三月十七日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
千原郵便局 靜岡縣藤原郡上川根村
徳山郵便局 靜岡縣志太郡徳山村

名 稱 位 置
上長尾郵便局 靜岡縣藤原郡中川根村

○逓信省告示第三百四十三號

明治三十六年三月三勅令第四十一號ニ基テ請願ニ依リ本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年三月十七日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百四十四號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス
逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年三月十七日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百四十五號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月二十一日ヨリ施行ス
逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年三月十七日

逓信大臣 男爵後藤新平

近江國犬上郡豐郷村大字八目ノ項ノ次ニ
近江國神前郡八日市町、近江郡大字上日吉字竹ヶ島
近江國蒲生郡中野村大字中野同今崎

○逓信省告示第三百四十六號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追

加シ本月二十一日ヨリ施行ス
明治四十三年三月十七日

加入區域外 通話區域	一通話料 電話料	加入區域外 通話區域	一通話料 電話料
八日市京都間	金二十錢	八日市大津間	金二十錢
八日市大津間	金二十錢	八日市彦根間	金十五錢
八日市彦根間	金十五錢	八日市草津間	金二十錢
八日市草津間	金二十錢	八日市大坂間	金二十五錢
八日市大坂間	金二十五錢	八日市大阪間	金二十五錢

○逓信省告示第三百四十七號
本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス
明治四十三年三月十八日

名	位	名	位
神城郵便局	長野縣北安曇郡神城村	保野郵便局	長野縣小縣郡中野田村
南安曇郵便局	長野縣上伊那郡南安曇村	丸根郵便局	長野縣那珂郡丸根村
波多郵便局	長野縣東筑摩郡波多村		

○逓信省告示第三百四十八號
明治四十二年六月逓信省告示第六百七號外國電報料金表中左ノ通改正ス
明治四十三年三月十八日

第一表 Oceania (大洋洲地方)ノ部中「Yap(ヤップ)」ノ項ヲ左ノ通改ス
Caroline Islands(「キヤロリン」群島)

Yap(ヤップ)	11210	11010	11010
Palos or Pelew Islands (「パロス」又ハ「ペルー」群島)			
Angaur(「アングアウ」)	* 11210	* 11010	* 11010
* 外ニ「ヤップ」以テノ傳送料トシテ五兩以内金二圓五十錢一兩ヲ増ス毎ニ金五十錢ノ料金ヲ加課ス			
同表 Africa(亞弗利加地方)ノ部中「Coos(「クオス」)			
Comoro Islands(「コモロ」群島)			
Anjouan or Johanna (「アンジュアン」又ハ「ジョハナ」)			
Great Comoro(「グレート・コモロ」)			
Mohilla(「モヒラ」)			
Anjouan or Johanna (「アンジュアン」又ハ「ジョハナ」)			
Great Comoro(「グレート・コモロ」)			
Mayotta(「マヨッタ」)			
Mohilla(「モヒラ」)			
Via Europe(歐洲田經由)			
第一表 Oceania(大洋洲地方)ノ部中「Yap(ヤップ)」ノ項ヲ左ノ通改ス			
Caroline Islands(「キヤロリン」群島)			
Yap(ヤップ)	10110	10110	10110
Palos or Pelew Islands(「パロス」又ハ「ペルー」群島)			
Angaur(「アングアウ」)	* 10110	* 10110	* 10110
* 外ニ「ヤップ」以テノ傳送料トシテ五兩以内金二圓五十錢一兩ヲ増ス毎ニ金五十錢ノ料金ヲ加課ス			
第二表 Oceania(大洋洲地方)ノ部中「Yap(ヤップ)」ノ項ヲ左ノ通改ス			
Caroline Islands(「キヤロリン」群島)			
Yap(ヤップ)	10110	10110	10110
Palos or Pelew Islands(「パロス」又ハ「ペルー」群島)			
Angaur(「アングアウ」)	* 10110	* 10110	* 10110
* 外ニ「ヤップ」以テノ傳送料トシテ五兩以内金二圓五十錢一兩ヲ増ス毎ニ金五十錢ノ料金ヲ加課ス			

○遞信省告示第三百五十六號
本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十三年三月十九日
名 稱 府中郵便局 位 置 茨城縣原市郡府中町
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第三百五十七號
本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス

明治四十三年三月十九日
名 稱 目下郵便局 位 置 島取縣東伯郡目下村
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第三百五十八號
本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年三月十九日
名 稱 東金郵便局 位 置 千葉縣長生郡茂原町
名 稱 千葉縣東葛飾郡船橋町
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第三百五十九號
明治三十三年ハ遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月二十一日ヨリ施行ス
明治四十三年三月十九日
下總國海上郡飯岡町ノ項ノ次ニ
上總國君津郡久留里町大字市場ノ項ノ次ニ
上總國長生郡茂原町大字茂原同高師東鄉村大字町保小字道祖神社
上總國山武郡東金町大字東金同登方同田間(字砂押ヲ除ク)

○遞信省告示第三百六十號
明治三十九年ハ遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料 電話呼出料中左ノ通追加シ本月二十一日ヨリ施行ス
明治四十三年三月十九日

加入區域外 通話區域	電話料	加入區域外 通話區域	電話料
茂原東京間	金二十五錢	東金東京間	金二十五錢
茂原千葉間	金二十錢	東金大宮間	金二十五錢
茂原佐倉間	金二十錢	東金甲府間	金二十五錢
茂原水更津間	金二十錢	東金千葉間	金二十五錢
茂原一宮間	金十錢	東金銚子間	金二十五錢
茂原東京間	金十五錢	東金佐倉間	金二十五錢
船橋東京間	金十五錢	東金成田間	金二十錢
船橋千葉間	金十五錢	東金一宮間	金十五錢
船橋銚子間	金十五錢	東金橫濱間	金十五錢
船橋佐倉間	金十五錢	東金前橋間	金十五錢
船橋市川間	金十錢		

○遞信省告示第三百六十一號
本月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置シ明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ電信事務ヲモ取扱フ但シ郵便物集配並電報配達事務ヲ取扱ハス
明治四十三年三月十九日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第三百六十二號
帆船壽光丸外十八艘ニ左ノ信號符字ヲ附ス
明治四十三年三月二十二日
遞信大臣 男爵後藤新平

一 備前國兒島郡郷内村大字林村(字沖、同熊坂ヲ除ク)ノ項中「郷内村大字林村(字沖、同熊坂ヲ除ク)トアルヲ「郷内村大字林」ト改ム

○逓信省告示第三百六十九號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十三年三月二十二日

逓信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一ダラー	八六五〇〇	一圓ニ付	六〇七
銀	一ダラー	八五二〇〇	一圓ニ付	三〇二

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○逓信省告示第三百七十號

明治三十八年六月逓信省告示第三百八十八號郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ於テ購入及保管スヘキ證券種類ノ末尾ニ大日本帝國政府四分利公債證書ヲ追加ス

明治四十三年三月二十二日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百七十一號

本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス

明治四十三年三月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置

永盛郵便局 福島縣安積郡永盛村

奥川郵便局 福島縣耶麻郡奥川村

名 稱 位 置

西徳富郵便局 北海道石狩國樺戸郡新十津川村

東十郷郵便局 福井縣坂井郡東十郷村

○逓信省告示第三百七十二號

本月二十五日限り左記郵便局ニ於ケル郵便物集配事務ヲ廢止ス但シ當該事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年三月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置

阿牛郵便局 石川縣能美郡別宮村

春江郵便局 福井縣坂井郡春江村

多武峰郵便局 奈良縣磯城郡多武峰村

口明方郵便局 岐阜縣郡上郡口明方村

名 稱 位 置

石巻師郵便局 三重縣鈴鹿郡石巻師村

大原郵便局 岐阜縣大野郡清見村

鉢田郵便局 福岡縣嘉穂郡飯塚町

○逓信省告示第三百七十三號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置

寶塚郵便局 兵庫縣武庫郡其元村

池田前郵便局 兵庫縣川邊郡池田村

吉永郵便局 岡山縣和氣郡英保村

多寄郵便局 北海道天鹽郡上川郡多寄村

幾寅郵便局 北海道石狩國空知郡下宮野村

真駒内郵便局 北海道後志國網走郡東網走村

古武井郵便局 北海道渡島國龜田郡尻岸内村古武井

名 稱 位 置

輪西郵便局 北海道釧路國室蘭郡輪西村

琴似郵便局 北海道石狩國札幌郡琴似村

大森郵便局 福島縣信夫郡大森村

立野郵便局 富山縣西礪波郡立野村

西山郵便局 三重縣南牟婁郡西山村

知佐郵便局 岐阜縣郡上郡奥明方村

○逓信省告示第三百七十四號

本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年三月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置

名古屋東區上野原郵便局 (名古屋東區)

名古屋東區中區前津小林郵便局 (名古屋東區)

新津前郵便局 (新潟縣中津川郡新津町)

名 稱 位 置

柏崎四ッ谷郵便局 (新潟縣刈羽郡比角村)

西牟田郵便局 (新潟縣三浦郡西牟田村)

○逓信省告示第三百七十五號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス
明治四十三年三月二十四日

名 稱 現 在 位 置
青山郵便局 東京市赤坂區青山町三丁目

○逓信省告示第三百七十六號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス
明治四十三年三月二十四日

現 名 稱 改 稱
大阪大川町 大阪淀屋橋郵便局
大阪油田町 大阪天神橋筋五郵便局

○逓信省告示第三百七十七號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十三年三月二十四日

名 稱 位 置
守寶郵便局 大分縣下毛郡三郷村

○逓信省告示第三百七十八號
來四月一日ヨリ左記電信局ヲ二等郵便局ニ改定下記ノ通改稱ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年三月二十四日

名 稱 位 置
名 稱 位 置
大阪玉造電信局 大阪市東區東區町三丁目

○逓信省告示第三百七十九號
本月三十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス
明治四十三年三月二十四日

名 稱 位 置
守寶郵便局 大分縣下毛郡三郷村

名 稱 位 置
西和真郵便局 岐阜縣郡上郡西和真村

○逓信省告示第三百八十號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス
明治四十三年三月二十四日

現 名 稱 現 在 位 置 改 稱
庄野郵便局 三重縣鈴鹿郡庄野村 高津瀨郵便局 三重縣鈴鹿郡高津瀨村

○逓信省告示第三百八十一號
明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ箇所ヲ削除シ本月二十六日ヨリ施行ス
明治四十三年三月二十五日

一 信濃國小縣郡城下村大字諏訪形字須川
○逓信省告示第三百八十二號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ取扱フ

送電報ヲ取扱フ
明治四十三年三月二十五日

名 稱 位 置
坂下郵便局 福島縣河沼郡坂下町

○逓信省告示第三百八十三號
本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年三月二十五日

名 稱 位 置
名 稱 位 置
坂下郵便局 福島縣河沼郡坂下町 龜岡郵便局 京都府南桑田郡龜岡町

明治四十三年三月 告示 逓信省第三百八十號 第三百八十一號 第三百八十二號 第三百八十三號 六九五

逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

能代停車場前郵便局 秋田縣山本郡能代港町(電話局) 秋田川尻郵便局 秋田縣川邊郡川尻村(電話局)

○逓信省告示第三百八十四號

本月二十八日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但レ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百八十五號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百八十六號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加本月二十六日ヨリ施行ス

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

「伊豫國北宇和郡宇和島町」ノ項ノ次ニ

伊豫國越智郡今治町(大字今治村字淺川、同比岐島ヲ除ク)、日吉村大字別宮字砂子、同葦子ヲ除ク、同越智郡喜原内、伊豫國越智郡波止濱村大字波止濱字本町、同大浦、同地堀、同蓬萊町、同榮町、同榎子町、波方村大字波方字郷、同大浦

○逓信省告示第三百八十七號

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加本月二十六日ヨリ施行ス

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料	加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料
今治松山間	金二十錢	金十五錢	刈谷大高間	金十錢	金十錢
今治三津渡間	金二十錢	金十五錢	長嶋殿大阪間	金十五錢	金二十錢
今治高濱間	金二十錢	金十五錢	嶋殿下里間	金十五錢	金二十錢
今治八幡濱間	金二十五錢	金十五錢	長木ノ本大阪間	金十五錢	金二十錢
今治宇和島間	金四十錢	金二十錢	水ノ本和歌山間	金十五錢	金二十錢
今治波止濱間	金五錢	金五錢	水ノ本日方間	金十五錢	金二十錢
今治廣島間	金三十錢	金二十錢	水ノ本下里間	金二十錢	金十五錢
今治吳間	金三十錢	金二十錢	水ノ本古座間	金二十錢	金十五錢
長今治尾ノ道間	金五十錢	金二十錢	水ノ本田邊間	金十五錢	金十五錢
波止濱松山間	金二十錢	金十五錢	水津燈殿間	金二十錢	金十五錢
波止濱三津渡間	金二十錢	金十五錢	水津大津間	金二十錢	金十五錢
波止濱高濱間	金二十錢	金十五錢	水津向日町間	金二十錢	金十五錢
長刈谷東京間	金九十錢	金十五錢	八幡(郷)茶其間	金二十錢	金十五錢
刈谷聖橋間	金三十錢	金十五錢	田邊(郷)茶其間	金十五錢	金十五錢
刈谷鳴海間	金十錢	金十錢	井平奈其間	金十錢	金十五錢
刈谷有松間	金十錢	金十錢	長池奈其間	金十五錢	金十五錢

○逓信省告示第三百八十八號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百八十九號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

用宗郵便局 靜岡縣安倍郡長田村 伊左地郵便局 靜岡縣濱名郡伊佐見村

大野郵便局 山梨縣南巨摩郡身延村

○逓信省告示第三百九十號
本月三十日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス

明治四十三年三月二十五日

名 稱 片原郵便局

位 置 群馬縣利根郡片原村

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百九十一號
本月三十日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十五日

名 稱

位 置

板倉郵便局 茨城縣東茨城郡飯宮村
田代郵便局 茨城縣那珂郡田代村
松平郵便局 茨城縣久慈郡山田村
久米郵便局 茨城縣久慈郡久米村

名 稱 菅田郵便局
合戦場郵便局
吹上郵便局

位 置 栃木縣足利郡北郷村
栃木縣下都賀郡家中村
栃木縣下都賀郡吹上村

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百九十二號
廣島縣備後國布刈瀬戸潮流観測掛燈浮標(本年三月逓信省告示第二百五十一號參照)ハ左記ノ通り設置ス

明治四十三年三月二十五日

布刈瀬戸潮流観測掛燈浮標

- 一位 燈 布刈瀬戸因ノ島大濱崎北方
- 一位 燈 鐵造圓筒形、上部ニ格子模樣ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲ケ半面白色、半面紅色トス
- 一位 燈 水面高 約一丈
- 一位 燈 至燈火 發 「アセトン」瓦斯閃光、半面白色、半面紅色、毎四秒時間ニ一閃光ヲ發ス

逓信大臣 男爵後藤新平

一 明 弧 全度

一 光 遠 距離 晴天ノ夜白光約八哩、紅光約七哩

一 水 深 大低潮時十二尋半
該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ
總山ノ鼻ハ 北五十六度五十五分西
四十島ノ北端ハ 北六十七度十五分西
笹島ノ南端ハ 南七十五度十九分東

一 記 事 本浮標ハ潮流ニ從ヒ旋轉スルヲ以テ白色面ト紅色面トノ方向ハ一定セズ
○逓信省告示第三百九十三號
本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハズ

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 八代出町郵便局
足立郵便局
熊木山崎町郵便局

位 置 熊本縣八代郡八代町(八代市)
福岡縣金敏郡足立村(八代市)
熊本縣櫻井町(熊本市)

名 稱 吉塚郵便局
鶴居郵便局

位 置 福岡縣筑紫郡野間村(八代市)
大分縣下毛郡鶴居村(八代市)

○逓信省告示第三百九十四號
本月三十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百九十五號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 大坂玉造新町郵便局 現在位置 大坂市東區岡山町
名 稱 陸上郵便局 位 置 青森縣三戸郡陸上村

○逓信省告示第三百九十六號
本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス

明治四十三年三月二十五日

名 稱 位 置
森ノ下郵便局 森手縣上閉伊郡上郷村

名 稱 位 置
大深内郵便局 青森縣上北郡大深内村

○逓信省告示第三百九十七號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十五日

名 稱 位 置
宮根郵便局 秋田縣山本郡宮根村

名 稱 位 置
賀田郵便局 青森縣中津輕郡大浦村

○逓信省告示第三百九十八號
本日限リ左記郵便局ニ於ケル郵便物集配事務ヲ廢止ス但シ當該事務ノ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年三月二十五日

名 稱 位 置
鶴形郵便局 秋田縣山本郡鶴形村

承繼局名 宮根郵便局

○逓信省告示第三百九十九號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十三年三月二十五日

現名稱 湯木郵便局 改稱 外小友郵便局

逓信大臣 男爵後藤新平
位 置 秋田縣仙北郡外小友村

○逓信省告示第四百號
下關海峽西口六連島燈臺及白洲燈臺ハ本月十九日以後其燈質及燭光數等(本年ニ逓信省告示第七十三號參照)ヲ左記ノ通變更ス

明治四十三年三月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

六連島燈臺

一等級及燈質 第五等閃光白色、每十五秒時間ニ一閃光ヲ發ス

一燭光數 約三千五百

白洲燈臺

一等級及燈質 第六等不動綠色

一燭光數 約三十

一光遠距離 晴天ノ夜約六裡半

○逓信省告示第四百一號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十六日

名 稱 位 置
佐土原郵便局 宮崎縣宮崎郡佐土原町

名 稱 位 置
高槻郵便局 大阪府三島郡高槻町

成東郵便局 千葉縣山武郡成東町

富田郵便局 大阪府三島郡富田村

○逓信省告示第四百二號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本日ヨリ施行ス

明治四十三年三月二十六日

「日向國宮崎郡清武村大字木原字新町」ノ項ノ次ニ

日向國宮崎郡佐土原町大字佐土原町、同大字上田島字追手、同田中、同門前、同谷、同十文字、同春田

「上總國山武郡東金町大字東金」ノ項ノ次ニ

上總國山武郡成東町大字成東、同津邊字新田

「攝津國南河内郡柏原村」ノ項ノ次ニ

攝津國三島郡高槻町、芥川村大字芥川、大冠村大字土橋

攝津國三島郡富田村、如是村大字東五百住、同西五百住

明治四十三年三月 告示 逓信省第四百一號 第四百二號

名 稱 位 置 名 稱 位 置
水口郵便局 滋賀縣甲賀郡水口町 寺庄郵便局 滋賀縣甲賀郡寺庄村

○逓信省告示第四百九號
明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月二十八日ヨリ施行ス
明治四十三年三月二十六日 逓信大臣 男爵後藤新平

近江國蒲生郡中野村大字中野ノ項ノ次ニ
近江國甲賀郡水口町大字水口同林口同新城柏木村大字北陽字北陽ノ内同北陽
近江國甲賀郡寺庄村大字寺庄同葛木同深川同深川市場地村大字野尻同龍寺師(字長峰嶺ヲ除ク)同野田

○逓信省告示第四百十號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月二十八日ヨリ施行ス
明治四十三年三月二十六日 逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 電話料	一通話ノ 電話料	加入區域外 電話料	一通話ノ 電話料
水口京都間	金二十錢	水口神戸間	金二十五錢
水口大津間	金二十錢	寺庄京都間	金二十錢
水口彦根間	金二十錢	寺庄大津間	金二十錢
水口草津間	金十五錢	寺庄彦根間	金二十錢
水口八幡間	金十五錢	寺庄草津間	金十五錢
水口寺庄間	金十錢	寺庄八幡間	金十錢
水口大阪間	金十五錢	寺庄大阪間	金十五錢

○逓信省告示第四百十一號
本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ
明治四十三年三月二十六日 逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置 名 稱 位 置
城崎郵便局 兵庫縣城崎郡城崎町 倉吉郵便局 鳥取縣東伯郡倉吉町
倉敷郵便局 岡山縣英田郡倉敷町

○逓信省告示第四百十二號
本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス
明治四十三年三月二十六日 逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置 名 稱 位 置
津居山郵便局 兵庫縣城崎郡津居村 清洲郵便局 愛知縣西春日井郡清洲町
高田郵便局 兵庫縣揖保郡高田村 蒲郡郵便局 愛知縣寶飯郡蒲郡町

○逓信省告示第四百十三號
明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月三十一日ヨリ施行ス
明治四十三年三月二十六日 逓信大臣 男爵後藤新平

但馬國出石郡出石町大字弘原町分同谷山分同谷山字八坂ヲ除クノ項ノ次ニ
播磨國飾磨郡御野村大字御著ノ項ノ次ニ
播磨國揖保郡旭陽村大字高田同和久同坂上同屋敷同福光
尾張國西加茂郡舉母町大字舉母ノ項ノ次ニ
尾張國西春日井郡清洲町大字清洲同一場
三河國寶飯郡蒲郡町大字蒲郡同小江

○逓信省告示第四百十四號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月三十一日ヨリ施行ス
明治四十三年三月二十六日 逓信大臣 男爵後藤新平

一第二 特殊取扱料金ノ部中到達證及踪跡取調ノ項ヲ左ノ通改ム

種別	單位	料	附	註
到達證	一箇ニ付	○〇三		
踪跡取調	一箇ニ付	○〇三		
	一箇ニ付	○〇五		
到達證請求ノ小包及寄留小包ニ付ナハ無料トス				

一第三 備考中第四號ノ末尾ニ左ノ一項ヲ加フ

種別	制	限
清國ト交換スルモノ	各面ノ寸尺二尺(但シ幅厚各六寸五分ヲ超過セサルモノハ長三尺三寸ニ達スルコトヲ得)又鐵道若ハ汽船ノ通セサル各地宛ノモノニ限り容積一立方尺	

○逓信省告示第四百二十號

明治三十年十一月逓信省告示第三百四十四號ハ在韓國本邦郵便及電信局相互間並ニ本邦トノ間ニ發着スル郵便稅率ノ件同三十一年十一月逓信省告示第三百二十三號ハ本邦及在韓國、清國、本邦郵便局相互間發着郵便物ニ內國郵便稅及手數料適用同年十二月同第三百四十六號ハ清國宛郵便物ノ寸尺重量制限同三十六年七月同第三百八十四號ハ清國郵便局ニ於テ本邦及在韓國本邦郵便局所在地宛通常郵便物ニ對シ徵收スル郵便料金ノ件ナリ

明治四十三年三月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治三十年十一月逓信省告示第三百四十四號ハ在韓國本邦郵便及電信局相互間並ニ本邦トノ間ニ發着スル郵便稅率ノ件同三十一年十一月逓信省告示第三百二十三號ハ本邦及在韓國、清國、本邦郵便局相互間發着郵便物ニ內國郵便稅及手數料適用同年十二月同第三百四十六號ハ清國宛郵便物ノ寸尺重量制限同三十六年七月同第三百八十四號ハ清國郵便局ニ於テ本邦及在韓國本邦郵便局所在地宛通常郵便物ニ對シ徵收スル郵便料金ノ件ナリ

○逓信省告示第四百二十一號

明治四十年九月逓信省告示第五百七十四號諸外國宛通常郵便物料金表中左ノ通改正シ來四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年三月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

一第一 郵便料「第三」特殊約定國ノ部ヲ左ノ如ク改ム

第一種	第二種	第三種	第四種	第五種
書狀一枚	郵便葉書一枚	印刷物(新聞紙及商業類)用書狀一枚	印刷物(新聞紙及商業類)用書狀一枚	印刷物(新聞紙及商業類)用書狀一枚
每三十枚毎	通常往復封筒	二十枚毎	三十枚毎	三十枚毎
三	二・五	三	五	二

一(一) 郵便料「備考」ノ部(己)ノ項中「聯合國郵便局經由送達ヲ要スル各地」ヲ「聯合國郵便局ノミ設置アル地」ニ改メ且同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
(庚) 在清國本邦郵便局所引受清國宛郵便物ノ寸尺重量ノ制限

書

狀

長
幅
厚
重
量

○逓信省告示第四百二十九號
來四月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十三年三月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百三十號

本月三十日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百三十一號

明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月三十日ヨリ施行ス

明治四十三年三月二十八日

○逓信省告示第四百三十二號

對馬國下縣郡嚴原町大字今屋敷ノ項ノ次ニ
對馬國下縣郡竹敷村大字竹敷字赤崎同在所同深浦同島ノ内大字黒瀬字檉柳
對馬國下縣郡知村大字知村(字燒松同上見坂同溪入坂同長坂同畑原同血浦同久須波ヲ除ク)

○逓信省告示第四百三十三號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月三十日ヨリ施行ス

明治四十三年三月二十八日

加入區域外
電話料

金十錢

金十錢

金十錢

金十錢

金五錢

金五錢

逓信大臣 男爵後藤新平

金五錢

○逓信省告示第四百三十三號

海事ニ關スル逓信管理局ノ管轄區域ハ別表第一號ニ依ル

海事ニ關スル事務ヲ分掌セシムル爲逓信管理局海事部出張所ヲ設ク其ノ名稱、位置及管轄區域ハ別表第二號ニ依ル

明治三十二年六月逓信省告示第七十六號、明治三十三年三月三十一日限リ之ヲ廢止ス

明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

(別表)第一號

局名	管轄區域
東京逓信管理局	東京府 埼玉縣 群馬縣 千葉縣 茨城縣 栃木縣 靜岡縣 (橫濱逓信管理局)
大阪逓信管理局	大阪府 京都府 奈良縣 三重縣 滋賀縣 福井縣 石川縣 富山縣 和歌山縣
神戶逓信管理局	神奈川縣 愛知縣 靜岡縣 (愛知縣ノ内下田町、濱松村、白濱村、河津村、稻取村、城東村及田方郡ノ内熱海町、伊東町、多賀村、新代村、宇佐美村、小室村及對馬村ヲ除ク) 岐阜縣
長崎逓信管理局	長崎縣 島根縣 岡山縣 德島縣 香川縣
札幌逓信管理局	北海道 青森縣 秋田縣 佐賀縣 熊本縣 宮崎縣 鹿兒島縣 沖繩縣
新潟逓信管理局	新潟縣 山形縣 愛媛縣 福岡縣 (筑後國ヲ除ク) 大分縣

(別表)第二號

名稱	位置	管轄區域
東京逓信管理局海事部	陸前國石巻町	宮城縣 鹿手縣
大阪逓信管理局海事部	志摩國鳥羽町	三波縣

神戸海務署 神戸逓信管理局
系崎海務署 廣島逓信管理局
新潟海務署 新潟逓信管理局

三 前號以外ノ海務署ノ事務ハ各其地ニ在ル逓信管理局海事部出張所之ヲ承繼ス
明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百三十九號

來四月一日ヨリ左ノ一等郵便局ヲ置キ各其地ニ在ル一等郵便局ノ郵便現業事務ヲ承繼ス

東京中央郵便局 東京市日本橋區四日市町本村木町 大阪中央郵便局 大阪市北區中ノ島三丁目

明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十號

來四月一日ヨリ左ノ一等電信局ヲ置キ各其地ニ在ル一等郵便局ノ電信現業事務ヲ承繼ス

東京中央電信局 東京市日本橋區四日市町本村木町 大阪中央電信局 大阪市北區中ノ島三丁目

明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十一號

來四月一日ヨリ左ノ一等電話局ヲ置キ各其地ニ在ル一等郵便局及電話局ノ電話現業事務ヲ承繼ス

東京中央電話局 東京市麹町區麩町 大阪中央電話局 大阪市東區平野町二丁目

明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十二號

來四月一日ヨリ左ノ一等郵便局ヲ置キ各其地ニ在ル同名ノ郵便局ノ現業事務ヲ承繼ス

名	稱	位	區
京都郵便局	京都市下京區三條東洞院東入鑿屋町		
横濱郵便局	横濱市本町一丁目		
神戸郵便局	神戸市榮町六丁目		
長崎郵便局	長崎市極楽町		
札幌郵便局	札幌區大通西三丁目		
長野郵便局	長野市後町		
新潟郵便局	新潟市本町通七番町		
名古屋郵便局	名古屋市住吉町一丁目		
熊本市郵便局	熊本市船場川端町		
仙臺郵便局	仙臺市雨町		
廣島郵便局	廣島市細工町		
宇都宮郵便局	宇都宮市尾上町		
青森郵便局	青森市大字濱町		
金澤郵便局	金澤市殿町		
高松郵便局	高松市内町		
鹿児島郵便局	鹿児島市山下町		
和歌山郵便局	和歌山市十一番町		
新潟郵便局	京都市府加佐郡新堀町		
敦賀郵便局	福井縣敦賀郡敦賀町		
徳島郵便局	徳島市西新町		
高知郵便局	高知市本町		
静岡郵便局	静岡市江川町紺屋町		

名	稱	位	區
横須賀郵便局	横須賀市沙留町		
岡山郵便局	岡山市大字下之町		
姫路郵便局	姫路市古二階町		
函館郵便局	函館區末廣町會所町		
小樽郵便局	小樽區色内町		
旭川郵便局	北海道石狩國上川郡旭川町		
釧路郵便局	釧路市橋町須崎土守町		
門司郵便局	門司市宇津町字西本町		
小倉郵便局	小倉市船場町		
佐世保郵便局	佐世保市佐世保鎮守府構内		
那覇郵便局	沖縄縣那覇區東村		
秋田郵便局	秋田市本町四丁目		
英郵便局	英市三番町一丁目		
下關郵便局	下關市大字西細江町		
下關東郵便局	下關市大字東南部町		
松江郵便局	松江市白濁本町		
松江山郵便局	松江市三番町		
上海郵便局	清國江蘇省上海		
天津郵便局	清國直隸省天津		
北京郵便局	清國直隸省北京		
牛莊郵便局	清國盛京省營口		
漢口郵便局	清國湖北省漢口		

○逓信省告示第四百四十三號
來四月一日ヨリ左ノ一等電信局ヲ置キ其地ニ在ル電信局ノ現業事務ヲ承繼ス
大根占電信局 鹿兒島縣肝煎郡大根占村
明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十四號

來四月一日ヨリ左ノ郵便局ヲ置キ各其下記郵便局ノ鐵道郵便又ハ鐵道船舶郵便ノ現業務ヲ承繼ス

名	稱	位階	等級	
東京	鐵道郵便局	東京市	一等	東京郵便局
神戶	鐵道郵便局	神戶市	一等	神戶郵便局
熊本	鐵道郵便局	熊本市	一等	熊本郵便局
仙臺	鐵道船舶郵便局	仙臺市	一等	仙臺郵便局
大阪	鐵道郵便局	大阪市	二等	大阪郵便局
札幌	鐵道郵便局	札幌區	二等	札幌郵便局
長野	鐵道郵便局	長野市	二等	長野郵便局
名古屋	鐵道郵便局	名古屋市	二等	名古屋郵便局
廣島	鐵道郵便局	廣島市	二等	廣島郵便局
金澤	鐵道郵便局	金澤市	二等	金澤郵便局

明治四十三年三月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十五號

來四月一日ヨリ二等郵便局及在外郵便局ハ本年三月逓信省告示第四百四十二號ニ掲グル一等郵便局ニ事務ヲ承繼セラレタルモノヲ除ク外本年勅令第九十一號逓信官署官制ニ依ル二等郵便局トシ各其事務ヲ承繼ス
來四月一日ヨリ電信局ハ大根占電信局ヲ除ク外本年勅令第九十一號逓信官署官制ニ依ル二等電信局トシ各其事務ヲ承繼ス
來四月一日ヨリ三等郵便局ハ本年勅令第九十一號逓信官署官制ニ依ル三等郵便局トシ各其事務ヲ承繼ス

來四月一日ヨリ郵便郵便爲替郵便貯金電信及電話ノ取扱所ハ本年勅令第九十一號逓信官署官制ニ依ル取扱所トシ各其事務ヲ承繼ス
明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十六號
來四月一日ヨリ明治二十二年十一月逓信省告示第二百四十四號中郵便電信局郵便局電信局ヲ逓信官署ニ改ム
明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十七號
來四月一日ヨリ明治三十三年九月逓信省告示第三百五十一號中郵便電信局及ヲ削リ郵便電信局ヲ郵便局ニ改ム
明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十八號
來四月一日ヨリ明治三十三年九月逓信省告示第三百四十一號中電信官署ハ一等郵便電信局電話官署ハ電話交換局ヲ電信官署及電話官署ハ逓信管理局ニ改ム
明治四十三年三月二十九日 逓信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕
明治三十三年五月十日逓信省告示第三百五十一號ハ郵便局代金引換郵便物並ニ現金取立郵便物ノ受拂事務開始ノ件ナリ
逓信省告示第三百四十一號(明治三十三年九月十一日)
電信法第五條ノ電信官署ハ一等郵便電信局電話官署ハ電話交換局トス

○遞信省告示第四百四十九號

來四月一日ヨリ明治三十三年九月遞信省告示第二百四十號中「郵便電信局」ヲ郵便局ニ改ム
明治四十三年三月二十九日 遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治三十三年九月十日遞信省告示第三百四十號ハ電話機ニ依リ電報ヲ發受スル心掛ナリ

○遞信省告示第四百五十號

來四月一日ヨリ明治三十一年十月遞信省告示第二百六十九號中「一等郵便電信局」ヲ「遞信管理局」ニ改ム
明治四十三年三月二十九日 遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治三十一年十月十日遞信省告示第二百六十九號ハ郵便電信取扱局所ノ設置移轉及郵便區變更等ニ關スル請願書提出方ナリ

○遞信省告示第四百五十一號

來四月一日ヨリ明治三十六年四月遞信省告示第二百二十八號中「通信管理局」又ハ「一等郵便局」ヲ「遞信管理局」ニ改ム
明治四十三年三月二十九日 遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治三十六年七月十日遞信省告示第二百三十八號ハ電信及電話線路ノ移轉請求方ナリ

○遞信省告示第四百五十二號

來四月一日ヨリ料金受領人拂外國新聞電報ヲ取扱フ通信官署左ノ如シ
明治四十二年六月遞信省告示第六百九號ハ本月三十一日限り之ヲ廢止ス
東京中央電信局 麹町郵便局 神田郵便局 府右對值局 丸之内郵便局

京橋郵便局 葵町電信局 新橋電信局 大塚中央電信局 横濱郵便局
神戶郵便局 三宮電信局 長崎郵便局 遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治四十二年六月十日遞信省告示第六百九號ハ本號ト同件ナリ

○遞信省告示第四百五十三號

來四月一日ヨリ明治四十年九月遞信省告示第五百八十六號中「各一等郵便局、函館、下關東、門司及敦賀各二等郵便局」ヲ「東京中央、大阪中央、京都、横濱、神戶、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、高松、鹿兒島、函館、下關東、門司及敦賀」各郵便局ニ改ム
明治四十三年三月二十九日 遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治四十年九月七日遞信省告示第五百八十六號ハ外國郵便爲替ノ拂渡ヲ取扱ハサル郵便局所名ナリ

○遞信省告示第四百五十四號

來四月一日ヨリ明治四十年九月遞信省告示第五百八十七號中「各一等郵便局」ヲ「東京中央、大阪中央、京都、横濱、神戶、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、高松、鹿兒島」ニ改ム
明治四十三年三月二十九日 遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治四十年九月七日遞信省告示第五百八十七號ハ外國郵便爲替交換局指定ノ件ナリ

○遞信省告示第四百五十五號

來四月一日ヨリ船舶検査法施行細則第十八條ノ規定ニ依リ船舶検査執行地ヲ定ムルコト左ノ如シ
明治三十三年十二月十二遞信省告示第五百四十一號ハ本月三十一日限り之ヲ廢止ス
明治四十三年三月二十九日 遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治三十三年十一月 逓信省告示第五百四十一號ハ本號ト同伴ナリ

○逓信省告示第四百五十六號

來四月ヨリ船舶職員試驗ハ左記ノ官廳及期日ニ於テ之ヲ執行ス

東京逓信管理局 (一月、三月、五月)

長崎逓信管理局 (七月、九月、十一月)

大阪逓信管理局 (二月、四月、六月)

札幌逓信管理局 (八月、十月、十二月)

明治三十五年 逓信省告示第二百六十四號ハ本月三十一日限り之ヲ廢止ス

明治四十三年三月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治三十五年 逓信省告示第二百六十四號ハ海員試驗執行場所及期日ナリ

○逓信省告示第四百五十七號

來四月一日ヨリ明治三十二年 逓信省告示第七十七號中「海務署」ヲ「逓信管理局」ニ改ム

信管理局海務部出張所ニ改ム

明治四十三年三月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治三十二年 逓信省告示第七十七號ハ船員法施行細則ニ依リ手数料納付場所ノ件ナリ

○逓信省告示第四百五十八號

來四月一日ヨリ明治四十二年 逓信省告示第一千五百五十五號逓信官吏練習所規則中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

第一條中「及逓信官署」ヲ「逓信管理局及逓信官署」ニ改ム

〔參照〕

明治三十三年十一月 逓信省告示第五百四十一號ハ本號ト同伴ナリ

○逓信省告示第四百五十六號

來四月ヨリ船舶職員試驗ハ左記ノ官廳及期日ニ於テ之ヲ執行ス

東京逓信管理局 (一月、三月、五月)

長崎逓信管理局 (七月、九月、十一月)

大阪逓信管理局 (二月、四月、六月)

札幌逓信管理局 (八月、十月、十二月)

明治三十五年 逓信省告示第二百六十四號ハ本月三十一日限り之ヲ廢止ス

明治四十三年三月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治三十五年 逓信省告示第二百六十四號ハ海員試驗執行場所及期日ナリ

○逓信省告示第四百五十七號

來四月一日ヨリ明治三十二年 逓信省告示第七十七號中「海務署」ヲ「逓信管理局」ニ改ム

信管理局海務部出張所ニ改ム

明治四十三年三月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治三十二年 逓信省告示第七十七號ハ船員法施行細則ニ依リ手数料納付場所ノ件ナリ

○逓信省告示第四百五十八號

來四月一日ヨリ明治四十二年 逓信省告示第一千五百五十五號逓信官吏練習所規則中左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

第一條中「及逓信官署」ヲ「逓信管理局及逓信官署」ニ改ム

第十二條中「一等郵便局長」ヲ「逓信管理局長」ニ改ム

第十七條中「及郵便貯金局」ヲ「郵便貯金局及逓信管理局」ニ「一等郵便局長」ヲ「逓信管理局長」ニ改ム

第二十五條中「逓信官署」ヲ「逓信管理局」及「逓信官署」ニ改ム

所屬局證明書式「中」郵便局(電信局)及「郵便局」ヲ「局」ニ改ム

○逓信省告示第四百五十九號

來四月一日ヨリ明治四十年 逓信省告示第二百二十三號別表左ノ通改正ス

明治四十三年三月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

(別表)

第一號表 指定逓信官署

逓信省管内郵便局	深川郵便局	淺草郵便局	下谷郵便局	神田郵便局
麹町郵便局	四谷郵便局	本郷郵便局	牛込郵便局	駒込郵便局
青山郵便局	麻布郵便局	九段郵便局	本所郵便局	三田郵便局
京橋郵便局	小石川郵便局	芝郵便局	高輪郵便局	赤坂郵便局
白金郵便局	丸の内郵便局	兩國郵便局	新橋郵便局	内藤新宿郵便局
浦和郵便局	八王子郵便局	小笠原郵便局	澁谷郵便局	日光郵便局
新橋電信局	柴町電信局			
大阪川口郵便局	大阪高津郵便局	大阪船場郵便局	大阪高麗橋郵便局	大阪堀江郵便局
大阪天満郵便局	大阪難波郵便局	大阪天王寺郵便局	大阪梅田郵便局	大阪安治川郵便局
京都五條郵便局	京都西陣郵便局	京都七條郵便局	京都荒神口郵便局	伏見郵便局
新舞鶴郵便局	餘部郵便局	福知山郵便局		
横濱長者町郵便局	横濱櫻木郵便局	神奈川郵便局		
米子郵便局	多度津郵便局	善通寺郵便局	丸龜郵便局	

長崎本博多郵便局	殿原郵便局	國後郵便局	稚内郵便局
室蘭郵便局	紗那郵便局		
高田郵便局	名古屋征島郵便局	熱田郵便局	
名古屋赤塚郵便局	八幡郵便局	八重山郵便局	久慈郵便局
熊本坪井郵便局			名園郵便局
米澤郵便局	濱田郵便局	福山郵便局	
四郷郵便局			
飯田郵便局	高岡郵便局		
敦賀郵便局	天津郵便局	芝罘郵便局	北京郵便局
上海郵便局	杭州郵便局	福州郵便局	厦門郵便局
蘇州郵便局	沙市郵便局	汕頭郵便局	長沙郵便局
漢口郵便局			廣東郵便局
一本表ニ指定スル逓信官署ニ對シテハ明治四十年四月逓信省令第十四號逓信官署經費渡切規則施行			
細則第一條第一號乃至第七號第十一號乃至第十三號ノ經費ヲ交付ス			
第二號表 指定逓信官署			
千葉郵便局	甲府郵便局	前橋郵便局	水戸郵便局
高知郵便局	奈良郵便局	堺郵便局	新宮郵便局
和歌山郵便局	徳島郵便局	淡路郵便局	大津郵便局
高知郵便局			
静岡郵便局	横須賀郵便局	鳥取郵便局	姫路郵便局
兵庫郵便局	岡山郵便局		津山郵便局
三ノ宮電信局			

佐賀郵便局	佐世保郵便局	旭川郵便局	花咲電信局
根室郵便局	釧路郵便局		
直江津郵便局	長岡郵便局		
岐阜郵便局	津郵便局	四日市郵便局	豊橋郵便局
山田郵便局			桑名郵便局
大分郵便局	久留米郵便局	小倉郵便局	若松郵便局
那覇郵便局	大根占郵便局		宮崎郵便局
福島郵便局	山形郵便局	若松郵便局	盛岡郵便局
秋田郵便局	弘前郵便局	尾道郵便局	山口郵便局
宇品郵便局	松江郵便局		吳郵便局
吳守府内郵便局	松江郵便局		
松本郵便局	上田郵便局		
富山郵便局	福井郵便局		
一本表ニ指定スル逓信官署ニ對シテハ明治四十年四月逓信省令第十四號逓信官署經費渡切規則施行			
細則第一條第一號乃至第三號第六號第七號及第十二號第十三號ノ經費ヲ交付ス			
第三號表 指定逓信官署			
三等郵便局	郵便受取所(在清國)郵便集配所	郵便立所	
郵便交換所	電話所		
一本表ニ指定スル逓信官署ニ對シテハ明治四十年四月逓信省令第十四號逓信官署經費渡切規則施行			
細則第一條第八號又ハ第八號乃至第十號ノ經費ヲ交付ス			

〔参照〕

明治四十年四月逓信省告示第二百二十三號ハ逓信官署ノ經費ハ渡切ヲ以テ當該局長ニ交付スル件ナリ

○遞信省告示第四百六十號
 本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十三年三月二十九日
 名 稱 飯田郵便局 位 置 長野縣下伊那郡飯田町
 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百六十一號
 本月三十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年三月二十九日
 名 稱 小樽若竹郵便局 位 置 北海道小樽區大字若竹町(小樽市)
 留萌北紀念通郵便局 北海道天鹽郡留萌村大字留萌村(留萌市)
 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百六十二號
 本月二十五日限リ左記郵便局ニ於ケル郵便物集配事務ヲ廢止セリ但シ當該事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年三月二十九日
 名 稱 小濱郵便局 位 置 兵庫縣川邊郡小濱村 承繼局名 寶塚郵便局
 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百六十三號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

香港洋銀	一ダラー	八十二〇〇	一圓ニ付	一ダラー	十四セント八
銀	一ダラー	八十八〇〇	一圓ニ付	一ダラー	十六セント八

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

○遞信省告示第四百六十四號
 明治三十三年ニ遞信省告示第六十四號郵送禁制品表中ニ左ノ一項ヲ加フ

明治四十三年三月二十九日
 瑞 四 一部分透明ノ封皮ヲ使用シ其ノ部分ノ内部ニ名宛ヲ記載シアル各種郵便物
 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百六十五號
 本日限リ左記電信局ヲ廢止ス但シ同局ニ於テ取扱ロタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年三月二十九日
 名 稱 伊豫丸無線電信局 位 置 日本郵船株式會社所屬汽船伊豫丸 承繼局名 横濱郵便局
 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百六十六號
 本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十三年三月三十日
 名 稱 金田郵便局 位 置 福岡縣田川郡神山村
 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百六十七號
 本日限リ左記郵便局ニ於ケル郵便物集配事務ヲ廢止ス但シ當該事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年三月三十日
 局 名 赤池郵便局 位 置 福岡縣田川郡上野村 承繼局名 金田郵便局
 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百六十八號
 本月三十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス

明治四十三年三月三十日
 名 稱 端山郵便局 位 置 徳島縣美馬郡端山村
 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百六十九號
 本月三十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年三月三十日
 遞信大臣 男爵後藤新平

水見郵便局
鹿兒島大門口郵便局
鹿兒島市松原町(鹿兒島局)

○逓信省告示第四百七十號
本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年三月三十日

名 稱 位 置
大分縣速見郡杵築町 日出郵便局

逓信大臣 男爵後藤新平

大分縣速見郡日出町

○逓信省告示第四百七十一號
明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月三十一日ヨリ施行ス

明治四十三年三月三十日

豊後國日田郡日田町大字豆田ノ項ノ次ニ
豊後國速見郡杵築町大字杵築同南杵築字中平、同生地、同須賀、同桑本同下司同家近、同六郎丸、同方太郎道同下原ヲ除ク

○逓信省告示第四百七十二號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月三十一日ヨリ施行ス

明治四十三年三月三十日

加入區域外 電話料	一回ノ電 話呼出料	加入區域外 電話料	一回ノ電 話呼出料
杵築大分間	金十五錢	杵築大分間	金十五錢
杵築別府間	金十五錢	杵築別府間	金十五錢
杵築臼杵間	金二十五錢	杵築臼杵間	金二十五錢
杵築臼杵間	金二十五錢	杵築臼杵間	金二十五錢
杵築日出間	金十錢	杵築日出間	金十錢

○逓信省告示第四百七十三號
今般佛蘭西國ハ明治三十九年十一月三日獨逸國伯林ニ於テ締結セラレタル國際無線電信條約ヲ批准シタリ

明治四十三年三月三十日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百七十四號
特國(在滿洲國國境)ニ於ケル帝國、韓國及關東州租借地發小包郵便物ノ取扱局ハ左ノ如シ

明治四十三年三月三十日

逓信大臣 男爵後藤新平

Amichow	Amipow	Angangli	Anhai	Anking	Anshan	Anshien	Aning	Ashih	Chanchen	Changchow Ku	Changchowfu	Changhwangkiang	Changli	Changling	Changlo	Changshu Ku	Changsinien
阿 迷 州	阿 畢 州	安 東 州	安 海 州	安 慶 府	安 山 府	安 順 府	安 寧 府	阿 什 河 村	陳 村	常 州	常 州	張 州	昌 州	昌 州	昌 州	昌 州	昌 州
(遼 南)	(遼 東)	(黑 龍 江)	(黑 龍 江)	(安 徽)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(吉 林)	(廣 東)	(江 蘇)	(江 蘇)	(江 蘇)	(山 東)	(山 東)	(山 東)	(江 蘇)	(直 隸)
*Changlikiwan	*Changli Ho	*Changtien	*Chaochowfu	*Chaoshien	*Chaoyanghsien	*Chengchow	*Chenglingfu	*Chenyang	*Chenni	*Chenwei	*Chenlow (Shih-kiachwang)	*Chihkiang	*Chihhsien	*Chihshan	*Chihshan	*Chinchowfu	*Chinhai
長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府	長 春 府
(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)	(河 南)
*Chinkiang	*Chinwangtao	*Chochow	*Chowlsan	*Chunachowfu	*Chuncho Han	*Chukinkio	*Chuking	*Chunnsien	*Chunghowso	*Chungmiao	*Chungmowhsien	*Chungsiensu	*Chunliangcheng	*Dosing	*Ehne	*Fangshunkiao	*Fangtze
鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府	鎮 江 府
(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)	(直 隸)
*Fanehui																	
鎮 江 府																	
(直 隸)																	

Sanshiifu	*Shunreifa	*Sinyangchow	泗水	(江)
*Santao	Shwangcheng	Siping	泗水	(江)
Shalochien Chi	Shwangtaize	Sinwa	泗水	(江)
Shahowso	Shikwan	Suifenhoh	泗水	(江)
Shangsinlu	*Siangfan	*Suiping	泗水	(江)
Shantong	*Siangyin	Suikochwang	泗水	(江)
*Shaopo	Siaolo	*Sunehong	泗水	(江)
Shaki	*Siokan	*Sunehow Tung	泗水	(江)
Shakung	Siakiakang	Sunhsien	泗水	(江)
Shenkiamen	*Siashih	Sunning	泗水	(江)
*Shenherwei	Sienning	*Suntong	泗水	(江)
Shihfaungyan	*Sienshimiao	Sushuichen	泗水	(江)
Shihkiachwang	*Siensiaochien	Szabue	泗水	(江)
(Chentow)	Shiangshan	Szekow	泗水	(江)
Shikow	Sima	Szechui Ho	泗水	(江)
*Shikma	Simkow	Tachwang Yun	泗水	(江)
Shihmen Che	Sinantien	*Tachow Ku	泗水	(江)
Shihmen Station	Sincheng Ho	*Tachowfu	泗水	(江)
Shihmenwan	Sinchwang Ku	*Taining	泗水	(江)
Shipu	Sinhohsien	*Taining An	泗水	(江)
Shishanachen	Sinkabio	*Tairong Tung	泗水	(江)
Shitshelchen	Sinkolow	Taiwongpo	泗水	(江)
Shitow	Sinkow	Taking	泗水	(江)
Shihung	Sinlo	Takiang	泗水	(江)
Shiwei	Sinca	Takunian	泗水	(江)
Showyang	*Sinsiang	Tainingho	泗水	(江)
*Shukow Fu	*Sint	Tanchow	泗水	(江)
Shupo	Sintien Ho			
*Shutung	Sinkshu			

Tangkiacha	Tiangkang	*Wenchow	溫州府	(浙)
*Tangnikai	*Tiangkiangpu	Wenchow City	溫州府	(浙)
*Tangshan	Tiangpubhsien	Wongshhek	溫州府	(浙)
*Tangai	Tiangtan	Wongshinghow	溫州府	(浙)
Tangyin	Tiangyang	Wongkong E	溫州府	(浙)
*Taryang	Tiangyin	*Woonsung	溫州府	(浙)
*Tackow	Tioshan	*Wuchanghsien	溫州府	(浙)
Tahowfow	Tsunghsiehien	*Wuchang Ki	溫州府	(浙)
*Tatang	Tsunghsing	*Wuchow	溫州府	(浙)
*Tetanfa	Tuchanghsien	Wukiang An	溫州府	(浙)
*Tengchowfa	*Tungan	*Wushih	溫州府	(浙)
*Tengylin	*Tungchow	Yangchow	溫州府	(浙)
Tenkiaokang	*Tungchow Chi	Yangchuan	溫州府	(浙)
Tkangchen	Tungchinghsien	Yangki	溫州府	(浙)
*Tingchow	*Tungkun	Yanglo	溫州府	(浙)
*Tinghai	Tungshih	Yangsan	溫州府	(浙)
Tingting	Twanfeng	*Yangsheng Ho	溫州府	(浙)
Yngszekiao	Tzechwan	(Lowanhoh)	溫州府	(浙)
Towmoon	Tzehotien	*Yangkong	溫州府	(浙)
Tsaihih	*Ungkung	Yichow	溫州府	(浙)
Tsaisangshi	Wachow	Yinglak	溫州府	(浙)
Tsaitfen	Waisang	*Yiyang Han	溫州府	(浙)
Tsaofo	Wanglin	*Yochow (Cheng-	溫州府	(浙)
Tsiaofo	Wangting	inglow)	溫州府	(浙)
Tsienwei	Wangsan Sung	Yochow City	溫州府	(浙)
*Tsinan	Wanglu	Yianshih	溫州府	(浙)
*Tingchowfa	*Weihsienwei	Yunakiachen	溫州府	(浙)
Tsingfengtien	*Weihsien	Yunhsiao	溫州府	(浙)
Tsinghoochen Chi	*Weiwei	*Yutze	溫州府	(浙)
Tsinghwachen	Weiting	*Yuyao	溫州府	(浙)

西歷一千九百零九年一月十四日

一千九百零九年一月十四日

二 重量八百匁(三ニキログラム)迄及容積一立方尺迄ノ小包ヲ取扱フ局

第一項ニ記載セサル各局

備考 第一項ノ各局中*印ヲ附シタル各局ニ於テハ價格表記小包ヲ取扱フ

○遞信省告示第四百七十五號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年三月三十日

初瀬郵便局 奈良縣磯城郡初瀬町

名 稱 位 置

名 稱 位 置 鹿兒島縣始良郡分村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百七十六號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月三十一日ヨリ施行ス

明治四十三年三月二十日

大和國磯城郡三輪町ノ項ノ次ニ

大和國磯城郡初瀬町大字初瀬

大隅國始良郡蒲生村大字蒲生ノ項ノ次ニ

大隅國始良郡分村大字上小川字上小川院同唐仁町同向花字向花院同本町

攝津國西成郡西中島村大字柴島ノ項ノ次ニ

攝津國西成郡西中島村大字淡路(字引江ヲ除ク)北中島村大字東宮原豐里村大字豐原

○遞信省告示第四百七十七號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月三十一日ヨリ施行ス

明治四十三年三月三十日

加シ本月三十一日ヨリ施行ス

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料	加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料
初瀬京都間	金二十五錢	金十五錢	初瀬帶解間	金十錢	金十錢
初瀬大阪間	金二十錢	金十五錢	初瀬小泉間	金十五錢	金十錢
初瀬奈良間	金十五錢	金十錢	初瀬長尾間	金十五錢	金十錢
初瀬山間	金十五錢	金十錢	初瀬法隆寺間	金十五錢	金十錢
初瀬高田間	金十五錢	金十錢	初瀬二階堂間	金十五錢	金十錢
初瀬御所間	金二十錢	金十五錢	初瀬下田間	金十五錢	金十錢
初瀬五條間	金十五錢	金十錢	初瀬三輪間	金十五錢	金十錢
初瀬上市間	金十五錢	金十錢	初瀬鹿兒島間	金二十錢	金十五錢
初瀬下市間	金十五錢	金十錢	初瀬加治木間	金十五錢	金十錢
初瀬櫻井間	金十五錢	金十錢	初瀬蒲生間	金十五錢	金十錢
初瀬八木間	金十五錢	金十錢	初瀬分郡城間	金十五錢	金十錢
初瀬丹波市間	金十五錢	金十錢			
初瀬田原本間	金十五錢	金十錢			

○遞信省告示第四百七十八號

來四月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送

電報ヲ取扱フ

明治四十三年三月三十日

名 稱 位 置 三重縣三原郡富田村

富田郵便局 愛知縣瀧美郡福江町

名 稱 位 置 蒲郡郵便局

名 稱 位 置 愛知縣瀧美郡蒲郡町

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百七十九號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ開始ス

明治四十三年三月三十日

名 稱 柴島郵便局

位 置 大阪府西成郡西中島村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百八十號
明治三十六年三月三十一號ニ基ク請願ニ依リ來四月一日ヨリ左記郵便局ニ電報配達事務ヲ開始ス

明治四十三年三月二十日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 阿久比郵便局

位 置 愛知縣知多郡阿久比村

○遞信省告示第四百八十一號

明治三十六年三月三十一號ニ基ク請願ニ依リ來四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

遞信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年三月三十一日

名 稱 富田一色郵便局

位 置 三重縣三重郡富田原村

○遞信省告示第四百八十二號

來四月六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月遞信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十三年三月三十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 綾部郵便局

位 置 京都府何鹿郡綾部町

名 稱 八津合郵便局

位 置 京都府何鹿郡中上林村

物部郵便局

位 置 京都府何鹿郡物部村

山家郵便局

位 置 京都府何鹿郡山家村

持込郵便局

位 置 京都府何鹿郡東八田村

私市郵便局

位 置 京都府何鹿郡佐賀村

○遞信省告示第四百八十三號

明治四十一年九月遞信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十三年三月三十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

監督局	開設局	加入	區	城
京都 綾部	京都府 何鹿郡 綾部町	大字 綾部町	大字 綾部町	
	京都府 何鹿郡 物部村	同 綾部町	同 綾部町	
	京都府 何鹿郡 東八田村	同 綾部町	同 綾部町	
	京都府 何鹿郡 中上林村	同 綾部町	同 綾部町	
	京都府 何鹿郡 山家村	同 綾部町	同 綾部町	
	京都府 何鹿郡 佐賀村	同 綾部町	同 綾部町	
	京都府 何鹿郡 持込郵便局	同 綾部町	同 綾部町	
	京都府 何鹿郡 八津合	同 綾部町	同 綾部町	
	京都府 何鹿郡 梅道	大字 梅道	大字 梅道	
	京都府 何鹿郡 東八田村	同 梅道	同 梅道	
	京都府 何鹿郡 西八田村	同 梅道	同 梅道	
	京都府 何鹿郡 新庄	同 梅道	同 梅道	
	京都府 何鹿郡 安國寺	同 梅道	同 梅道	
	京都府 何鹿郡 杉	同 梅道	同 梅道	
	京都府 何鹿郡 高	同 梅道	同 梅道	
	京都府 何鹿郡 安	同 梅道	同 梅道	
	京都府 何鹿郡 八津合	大字 八津合	大字 八津合	
	京都府 何鹿郡 隨谷	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 西原	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同日	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同神谷	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同寺町	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同石橋	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同馬場	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同引地	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同小田	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同真野	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同小山	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同念道	同 八津合	同 八津合	
	京都府 何鹿郡 同	同 八津合	同 八津合	

同 山家	京都府 何鹿郡 山家村	大字 廣 橋	宇治橋同長岡同岡
同 私市	京都府 何鹿郡 佐賀村	同 廣 橋	宇治橋同北谷
		同 上 原	宇治原
		同 私 市	宇治原
		同 報 恩 寺	宇治原
		同 小 貝	宇治原
			宇治原

○逓信省告示第四百八十四號
來四月一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉政稱ス
明治四十三年三月三十一日

逓信大臣 男爵後藤新平
現名稱 現在位置 改稱 移轉位置
大分縣大分郡大分町大字上野 大分縣大分郡大分町大字大分

○統監府告示第二十號(官報三月十一日)
韓國政府ハ隆熙四年一月三十一日勅令第八號及同年二月十六日内部令第六號ヲ以テ官營水道給水料金徵收ニ關スル件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ
明治四十三年三月五日 統監 子爵曾禰荒助

勅令第八號
官營ノ水道給水ニ關シ納付セシムヘキ金額徵收ニ對シテハ國稅徵收法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
内部令第六號
本年一勅令第八號ニ依リ國稅徵收法ノ規定ヲ準用スル場合ニハ其ノ施行ニ關シ國稅徵收法施行

細則ヲ準用ス
國稅徵收法施行細則ニ依リ財務官吏ニ關スル職務ヲ行フ者ハ所管歲入徵收官又ハ其ノ分掌者トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府告示第二十一號(官報三月十一日)
明治四十三年三月十六日以降當分ノ内左記郵便局所ヲシテ明治三十七年五月逓信省令第三十七號ニ依リ軍人軍屬ノ振出ス通常爲替ノ取扱ヲ爲サレム
明治四十三年三月五日 統監 子爵曾禰荒助

所 名	位 置	所 名	位 置
定山郵便電信取扱所	忠清南道定山郡定山邑	固城郵便取扱所	慶尙南道固城郡固城邑
昌城郵便電信取扱所	平安北道昌城郡昌城邑	土城郵便所	京畿道開城郡中西面土城

○統監府告示第二十二號(官報三月十九日)
明治四十三年三月十六日ヨリ左記郵便所ヲ設置ス但シ龍山漢江通郵便所ニ於テハ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
法聖浦、泗川及長轡各郵便所ニ於テハ其ノ開所ノ日ヨリ電信事務ヲモ取扱ハシム

明治四十三年三月十二日 統監 子爵曾禰荒助

所 名	位 置	所 名	位 置
龍山漢江通郵便所	京畿道京城山下町一丁目	泗川郵便所	慶尙南道泗川郡泗川邑
法聖浦郵便所	全羅南道靈光郡陳其面法聖浦	長轡郵便所	慶尙北道長轡郡長轡邑

○統監府告示第二十三號(官報三月十九日)
明治四十三年三月十五日限り左記郵便所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便所之ヲ承

明治四十三年三月十二日

統監 子爵曾禰荒助

所名	位	承繼所名
泗川郵便所	慶尚南道泗川郡泗川邑	泗川郵便所
長鬘郵便所	慶尙北道長鬘郡長鬘邑	長鬘郵便所

○統監府告示第二十四號(官報 三月十九日)

統監府及韓國政府ハ韓國沿海及内河ノ航行ニ關スル約定書ヲ左ノ通改正シ本年四月一日ヨリ之ヲ實施ス

第二條第二項ヲ削除ス
第三條ヲ左ノ通改ム

日本國船舶ハ韓國法令ノ定ムル所ニ從ヒ韓國船舶ト同様ノ船稅ヲ韓國海關ニ納付スヘシ
明治四十三年三月十二日 統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第二十五號(官報 三月三十日)

明治四十三年四月一日ヨリ郵遞所以外ノ統監府通信官署ヲシテ韓國國庫金中關稅金ノ出納及保管事務ノ取扱ヲ爲サシム
明治四十三年三月十九日 統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第二十六號(官報 三月三十日)

韓國政府ハ隆熙三年四月六日法律第十四號ヲ以テ國稅未勘金整理ニ關スル件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ
明治四十三年三月十九日 統監 子爵曾禰荒助

第一條 國稅未勘金整理ニ關スル件
開國五百三年以後隆熙元年迄ニ生シタル國庫金ノ欠通ハ本法ニ依リ之ヲ整理ス

第二條 欠通金徵收ニ關シテハ國稅徵收法ノ規定ヲ準用ス
第三條 左記ニ該當シタルモノハ確實ト認ムル額ニ限リ之ヲ欠通金額中ヨリ控除ス

一 公費ニ流用シタル額
二 陳虛結ニ屬シタル額
三 其ノ他欠通者ノ責任ニ屬セサル額

第四條 欠通者以外ノ第三者ニシテ欠通金ニ依リ直接利得シタル者アルトキハ其ノ利得ヲ限度トシ欠通者トシテ其ノ欠通金ヲ辨償セシムルコトヲ得

第五條 政府ハ欠通ノ事由ヲ酌量シ欠通金額ノ一部又ハ全部ノ納入ヲ免除スルコトヲ得

第六條 葉錢一兩ハ金十錢、舊白銅貨一元ハ金五十錢ノ比較ヲ以テ之ヲ換算ス但シ光武九年六月度支部大臣訓令葉錢通用地方ニ於ケル納稅ノ件(葉錢每十兩ヲ新貨一圓五十錢ノ比較ト定ム)ヲ發布シタル以後ハ其ノ比價ニ依ル

第七條 政府ニ於テ欠通金額ヲ定メタルトキハ之ヲ欠通者ニ通知スヘシ
前項ノ通知ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ政府ニ對シ再審査ヲ申請スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ政府ハ欠通金ノ徵收ヲ猶豫セス

第八條 前條第二項ノ申請アリタルトキハ政府ハ臨時國稅未勘金整理委員會ノ決議ヲ經テ決定ヲ爲シ之ヲ申請者ニ通知スヘシ

第九條 欠通金ヲ一時ニ納入スルコト能ハサル者ニ對シテハ八箇年以内ノ期間ニ於テ延納若ハ分納ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ政府ハ相當ノ擔保ヲ徵スヘシ

第十條 欠通者ガ指定期日ニ欠通金ヲ納入セザルトキハ其ノ財産ニ對シ直ニ滯納處分ヲ執行スヘシ

第十一條 欠通者欠通金ヲ完納スルコト能ハサルトキハ其ノ保證人ハ欠通者トシテ其ノ義務ヲ

負擔スルモノトス
 第十二條 欠逋者本法施行ノ日ヨリ滿三箇年内ニ欠逋金ノ納入告知ヲ受ケサルトキハ期滿免除
 ニ依リ其ノ義務ヲ免ル
 第十三條 欠逋者刑罰ノ訴追ヲ受クル前ニ欠逋金ヲ完納スルカ又ハ其ノ納入ヲ免除シタルトキ
 ハ其ノ刑ヲ免除シ其ノ一部ヲ納入シ又ハ一部ノ納入ヲ免除シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕スルカ
 又ハ免除スルコトヲ得
 第三者欠逋金ヲ完納スルカ又ハ其ノ一部ヲ納入シタル場合ニ於テモ亦欠逋者ニ對シ前項ノ規
 定ヲ適用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府告示第二十七號(官報 三月三十日)

明治四十三年三月二十一日ヨリ左記郵便取扱所及郵便所ニ電信事務ヲ開始シ郵便取扱所ハ下記ノ
 通改稱ス但シ興陽郵便取扱所ニ於テハ當分ノ内譯文電報ヲ取扱ハス

明治四十三年三月十九日

統監 子爵曾禰荒助

所 名	位 置	改正 所 名
南陽郵便取扱所	京畿道南陽郡南陽邑	南陽郵便電信取扱所
河川郵便取扱所	忠清南道河川郡河川邑	河川郵便電信取扱所
全義郵便取扱所	忠清南道全義郡全義邑	全義郵便電信取扱所
興陽郵便取扱所	全羅南道興陽郡興陽邑	興陽郵便電信取扱所
慈仁郵便取扱所	慶尙北道慈仁郡慈仁邑	慈仁郵便電信取扱所
慶山郵便所	慶尙北道慶山郡邑内面慶山驛	

○統監府告示第二十八號(官報 三月三十日)

明治四十三年三月二十一日ヨリ左記電信取扱所ニ對スル電報取扱制限下記ノ通改正ス

明治四十三年三月十九日

統監 子爵曾禰荒助

所 名	位 置	直配區域	其ノ他ノ事項
慶山電信取扱所	慶尙南道慶山鐵道停車場	鐵道停車場ヲ附帯シ若ハ取扱所設置ノ指 定アル電報ノ外配線セス	

○統監府告示第二十九號(官報 三月三十日)

韓國政府ハ隆熙四年三月十四日法律第一號ヲ以テ船舶法ヲ、同第二號ヲ以テ船舶検査法ヲ、同第三
 號ヲ以テ船舶積量測定法ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十三年三月十九日

統監 子爵曾禰荒助

船舶法

- 第一條 左ノ船舶ヲ以テ韓國船舶トス
- 一 韓國官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶
 - 二 韓國臣民ノ所有ニ屬スル船舶
 - 三 韓國ニ主タル事務所ヲ有スル法人ニシテ其ノ代表者ノ全員カ韓國臣民タルカ又ハ韓國臣
 民及日本國臣民タル者ノ所有ニ屬スル船舶
- 第二條 韓國船舶ノ所有者ハ韓國ニ其ノ船籍港ヲ定メ其ノ地ヲ管轄スル稅關ニ備ヘ置キタル船
 舶原簿ニ登録ヲ受クヘシ
- 稅關ニ於テ前項ノ登録ヲ爲シタルトキハ船舶國籍證書ヲ交付スヘシ
- 第三條 韓國船舶所有權ノ移轉、典當權ノ設定ハ之ヲ登録スルニ非サレハ第三者ニ對抗スルコ
 トヲ得ス
- 韓國船舶ノ貸借借ハ之ヲ登録スルニ非サレハ其ノ船舶ニ對シ所有權又ハ典當權ヲ取得シタル

者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四條 船舶國籍證書ヲ交付ヲ受ケタル船舶ニハ其ノ船首ノ兩側ニ船名船尾ノ外面見易キ所

ニ船名及船籍港ヲ漢字(國文又ハ日本語ヲ用フルコトヲ得)及羅馬字ヲ以テ明記スヘシ

第五條 韓國船舶ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外船舶國籍證書ヲ所持スルニ非サレハ韓國ノ

國旗ヲ掲ケ又ハ之ヲ航行セシムルコトヲ得ス

第六條 韓國船舶ノ名稱ハ所轄稅關ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第七條 前五條ノ規定ハ總噸數二十噸未滿若ハ積石數二百石未滿ノ船舶及端舟其ノ他櫓權ノミ

ヲ以テ運轉シ若ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟又ハ推進器ヲ有セサル浚漉船及航行ノ用ニ

供セサル船舶ニハ之ヲ適用セス

第八條 第二條ニ依リ登録シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ其ノ事實ヲ知リタ

ル日ヨリ三週間内ニ所轄稅關ニ申請シ其ノ變更ノ登録ヲ受ケヘシ

第九條 船舶國籍證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ其ノ事實ヲ知リ

タル日ヨリ三週間内ニ所轄稅關ニ申請シ其ノ書換ヲ受ケヘシ船舶國籍證書ヲ毀損シタルトキ

亦同シ

第十條 船舶國籍證書ヲ滅失シタルトキハ船舶所有者ハ其ノ事實ヲ知リタル日ヨリ三週間内ニ

所轄稅關ニ申請シ其ノ再交付ヲ受ケヘシ

第十一條 第二條ニ依リ登録ヲ受ケタル船舶カ滅失若ハ沈没シタルトキハ解撤セラレタルトキ

又ハ韓國ノ國籍ヲ喪失シ若ハ第七條ニ該當スル船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ其ノ事實

ヲ知リタル日ヨリ三週間内ニ其ノ事由ヲ疏明シ所轄稅關ニ抹消ノ登録ヲ申請シ且遲滯ナク船

舶國籍證書ヲ返還スヘシ船舶ノ存否カ六箇月間分明ナラサルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ在リテ船舶所有者カ抹消ノ登録ヲ爲ササルトキハ所轄稅關ハ一箇月内ニ之ヲ爲

スヘキコトヲ催告シ尙其ノ手續ヲ行ハサルトキハ職權ヲ以テ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ得

第十二條 第七條ニ掲ケタル船舶ノ所有者ハ左ニ掲ケルモノヲ除クノ外所轄財務署ニ申請シ船

艦札ノ交付ヲ受ケヘシ

一 總噸數五噸未滿又ハ積石數五十石未滿ノ帆船

二 端舟其ノ他櫓權ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟

三 推進器ヲ有セサル浚漉船及航行ノ用ニ供セサル船舶

第十三條 韓國船舶ノ所有者ハ左ノ區別ニ從ヒ毎年十月ニ船稅ヲ納付スヘシ

一 總噸數十噸又ハ積石數百石以上ノ船舶ハ每一噸又ハ十石迄毎ニ 金四錢

二 總噸數十噸又ハ積石數百石未滿ノ船舶ハ 金四十錢

第十四條 左ニ掲ケル船舶ニハ船稅ヲ課セス

一 韓國官廳ノ所有ニ屬スル船舶

二 漁業專用船 但シ直接漁撈ニ從事スル船舶

三 耕作專用船

四 水火災防禦、避難救助其ノ他公益ヲ目的トシテ常備シタル船舶

五 本船備付ノ傳馬船及端艇ノ類

六 倉庫船、船橋組成ノ爲定繫スル船及其ノ他航行ノ用ニ供セサル船

七 總噸數五噸未滿又ハ積石數五十石未滿ノ帆船

八 端舟其ノ他櫓權ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟

第十五條 登録ヲ申請スルトキハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納付スヘシ

一 新規登録、總噸數一噸又ハ積石數十石迄毎ニ 金五錢

二 登録ノ變更 一件ニ付 金五十錢

但し 測度ヲ要スル場合ハ測度ヲ行ヒタル噸數一噸又ハ積石數十石迄毎ニ 金五錢
轉籍ノ場合 一件ニ付 金十圓

三 所有權ノ取得、典當權、賃借權ノ設定
船舶國籍證書ノ再交付又ハ書換ヲ受クルトキハ金一圓、船艦札ノ交付、再交付又ハ書換ヲ受

クルトキハ金三十錢ノ手数料ヲ納付スヘシ

第十六條 第五條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ船長ニ代リ共ノ職務ヲ行フ者ニモ之ヲ適用ス

第十七條 第四條、第五條、第八條乃至第十二條ノ規定ニ違反シタルトキハ船舶所有者ヲ五圓以

上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ法人ニ在リテハ共ノ所爲ヲ行ヒタル代表者ニ之ヲ適用ス

第十八條 官吏ヲ欺キ船舶原簿ニ不實ノ登錄ヲ爲サシメタル者ハ二月以上三年以下ノ懲役又ハ

百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ刑法未遂犯ノ例ニ依リ處斷ス

前二項ノ規定ハ法人ニ在リテハ共ノ所爲ヲ行ヒタル代表者ニ之ヲ適用ス

第十九條 船舶國籍證書或ハ船艦札ノ様式、船舶原簿ニ登錄スヘキ事項、船税ノ徵收其ノ他本法施

附則

本法ハ隆熙四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現在スル韓國船舶ノ所有者ハ本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ第二條又ハ第十二條

光武三年勅令第三十三號國內船稅規則ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但該規則ニ依リ既ニ船稅

船舶検査法

第一條 韓國船舶ハ左ニ掲グルモノヲ除クノ外本法ニ依リ検査ヲ受クヘシ

一 航行ノ用ニ供セサル船舶

二 總噸數二十噸未満又ハ積石數二百石未満ノ帆船

三 端舟共ノ他機杼ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ機杼ヲ以テ運轉スル舟

四 平水航路ノミヲ航行スル帆船

前項ニ於テ平水航路ト稱スルハ河川、港内及別ニ指定スル區域内ノ航路ヲ謂フ

第二條 船舶ノ検査ハ船舶ヲ韓國船舶トシテ初メテ航行ノ用ニ供セムトスルトキ、航行ノ期間

満了ノトキ及航行期間内特ニ必要アルトキハ船舶所有者又ハ船長ノ申請ニ依リ之ヲ行フ

政府ニ於テ検査スルノ必要アリト認ムルトキハ前項ノ申請ヲ待タズシテ之ヲ行フ

第三條 船舶ノ検査ハ税關所在地及特ニ指定シタル箇所ニ於テ税關之ヲ行フ

第四條 税關ハ船舶所有者又ハ船長ノ申請アリタルトキ相當ノ事由アリト認ムル場合ニ限り前

條ノ箇所以外ニ於テ検査ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ船舶検査申請者ハ検査官吏ノ出張ニ要スル成規ノ旅費ヲ納付スヘシ

第五條 船舶検査ノ結果航行ニ適當ナリト認ムルトキハ検査官吏ハ航路定限、旅客定員、汽壓制

限及航行期間ヲ定メ税關ヨリ船舶検査證書ヲ交付スヘシ

航行期間内ト雖船舶検査官吏船舶カ航行ニ不適當ナリト認ムルトキ又ハ船舶検査證書ニ記載

シタル事項ニ適合セサルモノト認ムルトキハ税關ハ其ノ船舶検査證書ヲ返還センメ又ハ其ノ

記載事項ヲ變更スルコトヲ得

第六條 船長ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外前條ノ船舶検査證書ヲ所有スルニ非サレハ其ノ船舶ヲ航行ノ用ニ供スルコトヲ得ス

検査ヲ受ケタル船舶ノ所有者又ハ船長カ船舶検査證書ヲ受ケル前ニ於テ船舶ヲ航行ノ用ニ供セムトスルトキハ検査官吏ハ其ノ請求ニ依リ假證書ヲ交付シ之ヲ許可スルコトヲ得

第七條 船舶検査官吏検査ヲ終了シタルトキハ船舶検査手帖及安全鍵ヲ封緘シ之ヲ船長ニ交付スヘシ

船舶検査手帖ノ封緘ハ検査官吏ノ外之ヲ開クコトヲ得ス

安全鍵ノ封緘ハ正當ノ事由アル場合ノ外之ヲ開クコトヲ得ス

第八條 船舶ノ検査ニ對シ不服アルトキハ其ノ所有者又ハ船長ハ事由ヲ説明シ當該稅關長ヲ經由シ度支部大臣ニ再検査ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ再検査決定前ニ船舶ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ス

第九條 船舶検査證書又ハ假證書ニ記載シタル航路制限又ハ航行期間ヲ超過シ船舶ヲ回航セムトスルトキハ所有者又ハ船長ヨリ事由ヲ具シ稅關ニ申請シ認可ヲ受クヘシ

稅關ハ前項ノ事由正當ニシテ且其ノ船舶カ回航ニ適當スルモノト認ムルトキハ回航認可證書ヲ交付スヘシ

第十條 船長ハ船舶検査證書假證書又ハ回航認可證書ヲ船内最見易キ箇所ニ掲ケ置クヘシ

第十一條 船舶検査證書假證書回航認可證書又ハ船舶検査手帖ヲ滅失又ハ紛失シタルトキハ船長ハ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シ稅關ニ申請シ其ノ再交付ヲ受クヘシ

第十二條 船舶検査證書又ハ假證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキ又ハ毀損シタルトキハ船長ハ遲滞ナク稅關ニ其ノ書換ヲ申請スヘシ

第十三條 船舶検査官吏ハ何時タリトモ船舶ニ臨檢シ若特ニ検査ヲ行フ必要アリト認ムルトキハ其ノ航行ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第十四條 船舶ノ航行期間内ニ在リテ左ニ掲グル事故アルトキハ船長ハ直ニ其ノ事由ヲ具シ稅關ニ報告スヘシ

一 船舶ヲ入渠又ハ上架セムトスルトキ

二 船體若ハ機關ノ要部又ハ重要ナル屬具ニ損傷ヲ生シタルトキ又ハ之ヲ修理變更セムトスルトキ

三 汽機若ハ汽罐ヲ取放サムトスルトキ又ハ螺旋軸ヲ拔出サムトスルトキ

第十五條 船舶検査證書假證書又ハ回航認可證書ノ交付書換又ハ再交付ヲ受ケムトスル者ハ汽船ニ在リテハ二圓帆船ニ在リテハ一圓ノ手数料ヲ納付スヘシ

船舶検査手帖ノ再交付ヲ受ケムトスル者ハ汽船ニ在リテハ五圓帆船ニ在リテハ三圓ノ手数料ヲ納付スヘシ

前二項ノ規定ハ官有船舶ニハ之ヲ適用セス

第十六條 船舶検査官吏ハ船舶ノ所有者又ハ船舶職員ニ對シ検査ニ關シ必要ナル命令ヲ行フコトヲ得

第十七條 左ノ場合ニ在リテハ船長ヲ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 正當ノ事由ナク船舶検査證書又ハ假證書ヲ受有セス船舶ヲ航行ノ用ニ供シタルトキ

二 船舶検査證書又ハ假證書ニ記載シタル航路制限旅客定員航行期間又ハ汽壓制限ヲ超過シ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタルトキ但シ回航認可證書ニ違據シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

三 第十三條ノ臨檢ヲ抗拒シ又ハ航行停止ノ命令ニ違反シタルトキ

四 第八條ニ違反シ船舶ノ原狀ヲ變更シタルトキ

前項ノ規定ハ法人ニ在リテハ其ノ所爲ヲ行ヒタル代表者ニ之ヲ適用ス

第十八條 左ノ場合ニ在リテハ船長ヲ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條第二項ニ基ク命令ヲ抗拒シタルトキ

二 第七條第二項ノ規定ニ違反シ船積検査手帖ノ封緘ヲ開キ又ハ正當ノ事由ナク安全鑰匙ノ封緘ヲ開キタル者アルトキ

三 第十條ノ規定ニ違反シタルトキ

四 第十一條ノ規定ニ違反シ船積検査證書假證書、回航認可證書又ハ船積検査手帖ノ再交付ヲ申請セス又ハ第十二條ノ規定ニ違反シ船積検査證書又ハ假證書ノ書換ヲ申請セザルトキ

五 第十四條ノ規定ニ依ル報告ノ義務ヲ怠リタルトキ

第十六條ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第十九條 詐偽ノ所爲ヲ以テ船積検査證書、假證書若ハ回航認可證書ヲ受ケタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ法人ニ在リテハ其ノ所爲ヲ行ヒタル代表者ニ之ヲ適用ス

第二十條 本法中船長ニ適用スヘキモノハ船長ニ代リ其ノ職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第二十一條 本法施行ニ關シ必要ナル規定ハ度支部大臣之ヲ定ム

附則

本法ハ隆熙四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現在スル船舶ノ所有者又ハ船長ハ本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ其ノ船舶ノ検査ヲ申請スヘシ

船舶積量測定法

第一條 船舶ノ積量ハ本法ニ依リ之ヲ測定ス

第二條 船舶ノ積量ヲ測定スルニハ尺位ヲ以テ其ノ單位トシ尺度ハ之ヲ分位ニ止ム

第三條 船舶ノ積量ニシテ噸數ヲ以テ測定スルモノハ百立方尺ヲ以テ一噸トシ石數ヲ以テ測定スルモノハ十立方尺ヲ以テ一石トス

第四條 西洋形船舶ニシテ甲板一層ノモノハ其ノ甲板ヲ以テ量噸甲板トシ二層ノモノハ其ノ上層甲板ヲ以テ量噸甲板トシ三層以上ノモノハ其ノ最下ヨリ第二層ノ甲板ヲ以テ量噸甲板トス

第五條 西洋形船舶ニシテ甲板一層又ハ二層ノモノハ量噸甲板下ノ噸數ニ量噸甲板上諸室ノ噸數ヲ合シ之ヲ該船ノ總噸數トシ又甲板三層以上ノモノハ量噸甲板下ノ噸數ニ量噸甲板上各甲板間ノ噸數及最上甲板上諸室ノ噸數ヲ合シ之ヲ該船ノ總噸數トス其ノ測定ノ方法左ノ如シ

一 量噸甲板下ノ噸數ヲ測ルニハ量噸甲板上ニ於テ船首ノ内側ヨリ船尾ノ内側ニ至ル長ヲ測リ之ヨリ甲板ノ厚ニ準シ船首船尾ノ傾度ニ對スル甲板ノ長及船尾船梁ノ矢(船梁ノ弧形ヲナセル所ノ高)ノ三分ノ一下ヨリ船尾ノ傾度ニ對スル甲板ノ長ヲ減シ量噸甲板下ノ長トシ其ノ長五十尺未滿ノ船ハ四箇、五十尺以上百二十尺未滿ノ船ハ六箇、百二十尺以上百八十尺未滿ノ船ハ八箇、百八十尺以上二百二十五尺未滿ノ船ハ十箇、二百二十五尺以上ノ船ハ十二箇ニ等分シ其ノ各分長點ニ於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内板ノ上面ニ至ル深ヲ測リ之ヨリ船梁ノ矢三分ノ一ヲ減シ之ヲ各分長點ニ於ケル量噸甲板下ノ深トシ中央分長點ニ於ケル深十六尺未滿ハ四箇、十六尺以上アルトキハ六箇ニ各深ヲ等分シ其ノ各分長點及上下兩端ニ於テ船内ノ幅ヲ測定シ之ヲ上端ヨリ數ハ偶數ニ當ル幅ハ四倍シ奇數ニ當ル幅(上下兩端ヲ除ク)ハ二倍シ其ノ合數ニ上下兩端ノ幅ヲ加ヘ此ニ分深點ノ間隔ノ三分ノ一ヲ乘シ其ノ得數ヲ各分長點ニ於ケル幅積而積トシ之ヲ船首ヨリ數ハ偶數ニ當ル面積ハ四倍シ奇數ニ當ル面積(船首船尾ノ兩端ヲ除ク)ハ二倍シ其ノ合數ニ船首及船尾ノ面積(若アレハ)ヲ加ヘ之ニ分長點ノ間隔ノ三分ノ一ヲ乘シ其ノ得數ヲ百ニテ除スヘシ

二 最上甲板上諸室ノ噸數ヲ測度スルニハ該室内平均ノ長ト高ヲ測リ其ノ高ノ中央ニ於テ該室前後及中央ノ幅ヲ測リ中央ノ幅四倍ニ前後ノ幅ヲ加ヘ之ニ平均ノ長ノ六分ノ一ヲ乘シ又之ニ平均ノ高ヲ乘シ其ノ得數ヲ百ニテ除スヘシ

三 甲板三層以上アル船ニ於テ量噸甲板上各甲板間ノ噸數ヲ測度スルニハ甲板間平均ノ高ヲ測リ其ノ高ノ中央ニ於テ船首ノ内側ヨリ船尾ノ内側ニ至ル長ヲ測リ之ヲ量噸甲板下ノ長ト同一ニ等分シ高ノ中央ニ於テ其ノ各分長點及前後兩端ノ幅ヲ測リ之ヲ船首ヨリ數ヘ偶數ニ當ル幅ヲ四倍シ奇數ニ當ル幅(船首船尾ノ兩端ヲ除ク)ハ二倍シ其ノ合數ニ船首及船尾ノ幅(若アレハ)ヲ加ヘ之ニ分長點間隔三分ノ一ヲ乘シ又之ニ平均ノ高ヲ乘シ其ノ得數ヲ百ニテ除スヘシ

第六條 西洋形船舶ニシテ甲板ナキモノハ舷端以下ノ噸數ヲ以テ該船ノ總噸數トシ又舷端以上ニ船室アレハ其ノ噸數ヲ合シ之ヲ該船ノ總噸數トス其ノ測度ノ方法左ノ如シ

一 船首上端ノ内側ヨリ船尾上端ノ内側ニ至ル長ヲ測リ之ヲ第五條第一號ニ掲載スル等級ニ準シテ等分シ其ノ各分長點ニ於テ船舷ノ上端ヲ境線トシ之ヨリ船底ニ至ル深ヲ測リ其ノ他第五條第一號ニ依リ噸數ヲ求メ之ヲ該船ノ總噸數トス

二 船舷上端ノ境線ヲ超ニ船室ノ設置アルモノハ境線上ニ於ケル該室平均ノ長、幅及高ヲ測リ之ヲ相乘シ其ノ得數ヲ百ニテ除シ之ヲ該線下ノ噸數ニ加フヘシ

第七條 汽船ノ登簿噸數ハ總噸數ヨリ乘組員常用室及機關室ノ噸數ヲ除キタルモノトス

第八條 帆船ノ登簿噸數ハ總噸數ヨリ乘組員常用室ノ噸數ヲ除キタルモノトス

第九條 乘組員常用室トシテ除クヘキ噸數ハ總噸數ノ百分ノ六トス

第十條 機關室トシテ除クヘキ噸數ハ總噸數ノ百分ノ六トス

一 外車汽船機關室ノ噸數ニシテ該船總噸數ノ百分ノ二十ヨリ三十マテノモノハ總噸數ノ百分ノ三十七

分ノ三十七

二 暗車汽船機關室ノ噸數ニシテ該船總噸數ノ百分ノ十三ヨリ二十マテノモノハ總噸數ノ百分ノ三十二

機關室ノ廣狹ニ依リ前各號ノ比例ニ適合セサルモノハ該室ノ噸數ニ外車汽船ナレハ其ノ二分ノ一ヲ加ヘ暗車汽船ナレハ其ノ四分ノ三ヲ加ヘ又機關室巨大ニ過クルモノハ該室ノ噸數ヲ除キ又ハ總噸數ノ百分ノ四十以内ヲ除クモノトス

第十條 機關室ノ噸數測度方法左ノ如シ

一 機關室内平均ノ長、幅及深ヲ測リ之ヲ相乘シ其ノ得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸數トス

二 機關室ノ上端ニ機關運轉又ハ空氣流通等ノ爲圍匝ノ箇所アルトキハ其ノ長、幅及深ヲ測リ之ヲ相乘シ其ノ得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸數ニ加フヘシ

三 暗車汽船ニ在リテハ軸室平均ノ長、幅及高ヲ測リ之ヲ相乘シ其ノ得數ヲ百ニテ除シ之ヲ機關室ノ噸數ニ加フヘシ

第十一條 朝鮮形又ハ日本形回漕船ハ船梁ノ上下船艙ノ石數ヲ以テ該船ノ積石トス其ノ測度ノ方法左ノ如シ

一 船舷ノ上端ヲ境線トシ之ヨリ船梁ノ上面ニ至ル平均ノ高、船首室ノ境界ヨリ船尾室ノ境界ニ至ル長及船舷ノ内側ヨリ内側ニ至ル平均ノ幅ヲ測リ其ノ長、幅及高ヲ相乘シ其ノ得數ヲ百ニテ除シ之ヲ船梁上船艙ノ石數トス

二 船首室ノ境界ヨリ船尾ノ内側ニ至ル船底ノ長ヲ測リ之ヲ四箇ニ等分シ其ノ各分長點及前後兩端ニ於テ深ヲ測リ各深ノ中央及上下ニ於テ平均ノ幅ヲ測リ其ノ深及幅ヲ平均シ其ノ平均ノ深、幅及長ヲ相乘シ其ノ得數ヲ百ニテ除シ之ヲ船梁下ノ船艙石數トシ船梁上船艙

ノ石敷ヲ加フヘシ
第十二條 朝鮮形又ハ日本形船舶ニシテ其ノ構造回漕船ト異ナルモノハ舷端以下ノ石敷ヲ以テ該船ノ積石トス共ノ測度ノ方法左ノ如シ
船首ノ内側ヨリ船尾ノ内側ニ至ル船底ノ長ヲ測リ之ヲ四箇ニ等分シ其ノ各分長點ニ於テ船舷上端ヲ境界線トシ之ヨリ船底ニ至ル深ヲ測リ其ノ深ノ中央及上下ニ於テ平均ノ幅ヲ測リ其ノ深及幅ヲ平均シ其ノ平均ノ深幅及長ヲ相乘シ其ノ得數ヲ十二テ除スヘシ

附則

本法ハ隆熙四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○臺灣總督府告示第二十號(官報三月三日)

明治四十三年三月一日ヨリ花蓮港醫院ニ於テ診療ヲ開始ス

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年二月二十四日

○臺灣總督府告示第二十一號(官報三月三日)

明治四十三年二月二十四日發行臺灣新聞第二千七百三十號ハ臺灣新聞紙條例第十條ニ依リ其發賣頒布ヲ禁止ス

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年二月二十四日

○臺灣總督府告示第二十二號(官報三月八日)

明治四十三年一月告示第三號區ノ名稱及其ノ區域内ノ街庄社名並區長役場ノ位置中花蓮港屬水尾區管轄内ノ馬於文社ヲ舞鶴庄ニ改ム

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年二月二十七日

○臺灣總督府告示第二十三號(官報三月八日)

明治四十三年二月二十八日ヨリ北斗郵便局ニ於テ明治三十九年六月府令第四十四號臺灣特設電話加入規則ニ依ル溪洲庄特設電話ノ加入申込ヲ受理ス

入規則ニ依ル溪洲庄特設電話ノ加入申込ヲ受理ス

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年二月二十七日

○臺灣總督府告示第二十四號(官報三月八日)

明治三十九年七月告示第五十一號特設電話事務取扱ヲ爲ス郵便局所ノ名稱並其ノ位置及指定區域ニ左ノ追加ス

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年二月二十七日

局所名 溪洲庄郵便受取所 位置 (溪洲庄) 指定區域内 臺中縣東螺西堡溪洲庄

○臺灣總督府告示第二十五號(官報三月八日)

明治三十七年十一月告示第四百四十五號電話呼出地域ニ左ノ追加ス

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年二月二十七日

一臺中廳東螺西堡溪洲庄

○臺灣總督府告示第二十六號(官報三月八日)

明治四十三年三月一日ヨリ左ノ郵便受取所ヲ設置ス但シ溪洲庄郵便受取所ニ於テハ電信及電話ノ業務ヲ兼掌シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年二月二十七日

名 溪洲庄郵便受取所 位置 臺中縣東螺西堡溪洲庄 指定區域内 臺南廳文賢里車路墘庄

○臺灣總督府告示第二十七號(官報三月八日)

明治四十三年三月一日ヨリ花蓮港屬下花蓮港風林間輕便鐵道臺車貸下營業ヲ開始ス其ノ停車場及哩程左ノ通

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年二月二十七日

臺灣總督府ヨリ郵便振替貯金事務ニ關シ發スル書類ニハ府名ヲ「臺灣振替貯金部」ト略記ス
明治四十三年三月二十四日
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

臺灣總督府告示第三十六號(官報三月三十一日)
臺灣總督府ニ屬スル郵便振替貯金口座番號ノ上ニハ「臺灣」ト冠記ス
明治四十三年三月二十四日
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○關東都督府告示第三十九號(官報三月一日)
大連民政署金州支署管内劉家店會冷家溝第一番戶農耕法所有ノ畜牛一頭ハ癩ニ流行性齧口瘡ニ罹
リ隔離中ノ處明治四十三年二月五日全治シタリ
關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第四十號(官報三月一日)
大連民政署金州支署子窩出張所管内楊樹底會大樂家屯第十七番戶王道奎所有ノ畜牛一頭及同所
第十四番戶王義所有ノ畜牛一頭ハ明治四十三年二月六日何レモ牛疫ニ罹レルヲ發見シ撲殺シタリ
明治四十三年二月十八日
關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第四十一號(官報三月一日)
大連民政署金州支署管内老虎山會大後海第五番戶李維遠外三名所有ノ畜牛七頭ハ明治四十三年二
月六日ヨリ同月八日マテノ間ニ於テ流行性齧口瘡ニ罹レルヲ發見シ一頭ハ斃死シ其他ハ目下隔離
中
關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第四十二號(官報三月一日)
明治四十三年二月四日芝罘ヨリ大連ニ入港ノ第二十永田丸ニ搭載輸入シタル大連小崗子第三區百
四十三號地高學志所有ノ畜牛二十五頭ハ隔離視察中ノ處内五頭ハ同月七日流行性齧口瘡ニ罹リタ
ルヲ發見シ治療中
關東都督 子爵大島義昌

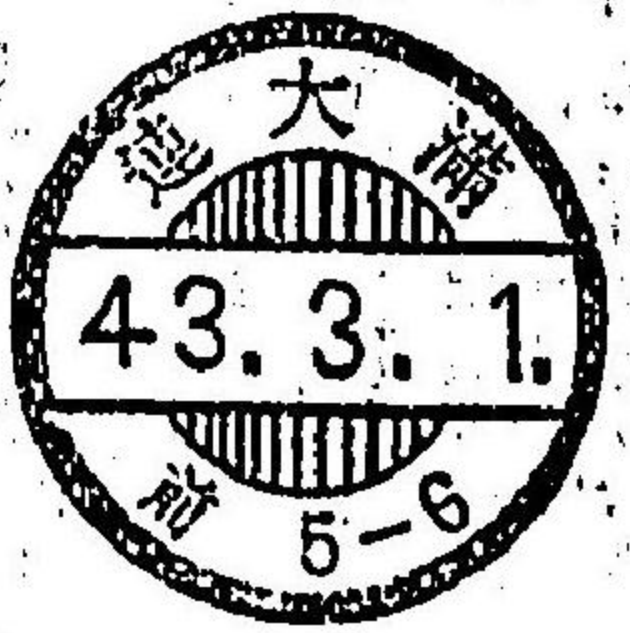
○關東都督府告示第四十三號(官報三月一日)
大連民政署管内小崗子第三區百四十三番地高學志所有ノ畜牛二頭ハ癩ニ流行性齧口瘡ニ罹リ隔離
中ノ處明治四十三年二月十四日何レモ斃死シタリ
明治四十三年二月十九日
關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第四十四號(官報三月一日)
大連民政署管内小崗子第一區五十八號地王增才外一名所有ノ畜牛四頭ハ明治四十三年二月四日ヨ
リ同月六日マテノ間ニ於テ流行性齧口瘡ニ罹リ隔離中ノ處同月十二日二頭ハ全治シ二頭ハ斃死シ
タリ
關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第四十五號(官報三月一日)
明治四十年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十三年二月二十日以降銀一圓ニ付金八十五
錢ニ改定ス
關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第四十六號(官報三月三日)
關東都督府通信官署ニ於テ通信事務ニ使用スル日附印ハ通信日附印ト稱シ共ノ形式左ノ通定ム但
シ特殊通信日附印ノ形式ハ別ニ定メ隨時之ヲ告示ス
明治四十三年二月十九日
關東都督 子爵大島義昌

明治四十三年三月 告示 關東都督府第三十三號 第四十四號 第四十五號 第四十六號 七六三



局名ハ其ノ局ニ依リ年月日及時刻ハ其ノ使用ノ日時ニ依リ孰レモ變更スルモノトス

○關東都督府告示第四十七號(官報三月三日)

糞ニ芝罘ヨリ輸入シタル大連小崗子第三區百四十三番地高學志外一名所有ノ畜牛九頭ハ關東都督府海務局ニ於テ檢疫ノ際何レモ流行性齧口瘡ニ罹リタルヲ發見シ隔離中ノ處明治四十三年二月十五日ヨリ同月十六日迄ノ間ニ於テ六頭ハ全治シ三頭ハ斃死シタリ

關東都督 子爵大島義昌

明治四十三年二月二十一日

○關東都督府告示第四十八號(官報三月三日)

大連民政署金州支署普蘭店出張所管内土城子會屯家屯第三番戶農范立國所有畜牛一頭ハ明治四十三年二月七日牛疫ニ罹リ隔離中ノ處同月十一日斃死シタリ

關東都督 子爵大島義昌

明治四十三年二月二十一日

○關東都督府告示第四十九號(官報三月三日)

大連民政署金州支署普蘭店出張所管内長山寺會幸家屯第三番戶農耿丕祿所有ノ畜牛一頭ハ明治四十三年二月十日牛疫ニ罹リ隔離中ノ處同月十二日斃死シタリ

關東都督 子爵大島義昌

明治四十三年二月二十一日

○關東都督府告示第五十號(官報三月三日)

大連民政署管内小崗子第三區百四十三番地高學志外二名ノ所有畜牛六頭ハ糞ニ流行性齧口瘡ニ罹リ隔離中ノ處明治四十三年二月十七日一頭ハ斃死シ其他ハ何レモ全治シタリ

關東都督 子爵大島義昌

明治四十三年二月二十三日

○關東都督府告示第五十一號(官報三月八日)

大連民政署金州支署管内大魏家屯會劉家屯第四十番戶魏天祥外一名ノ所有畜牛四頭ハ糞ニ流行性齧口瘡ニ罹リ隔離中ノ處明治四十三年二月九日及同月十日何レモ全治シタリ

關東都督 子爵大島義昌

明治四十三年二月二十四日

○關東都督府告示第五十二號(官報三月八日)

大連民政署金州支署普蘭店出張所管内長山寺會幸家屯第二番戶耿丕元外一名所有ノ畜牛二頭ハ明治四十三年二月八日ヨリ同月十二日マテノ間ニ於テ牛疫ニ罹リタルヲ發見シ何レモ撲殺シタリ

關東都督 子爵大島義昌

明治四十三年二月二十四日

算術	歷史	地理	圖畫	教科目	年級
尋常小學算術用卷一 尋常小學算術用卷二 尋常小學算術用卷三 尋常小學算術用卷四 尋常小學算術用卷五 尋常小學算術用卷六 尋常小學算術用卷七 尋常小學算術用卷八 尋常小學算術用卷九 尋常小學算術用卷十 尋常小學算術用卷十一 尋常小學算術用卷十二 尋常小學算術用卷十三 尋常小學算術用卷十四 尋常小學算術用卷十五 尋常小學算術用卷十六 尋常小學算術用卷十七 尋常小學算術用卷十八 尋常小學算術用卷十九 尋常小學算術用卷二十	尋常小學日本歷史兒童用卷一 尋常小學日本歷史兒童用卷二 尋常小學日本歷史兒童用卷三 尋常小學日本歷史兒童用卷四 尋常小學日本歷史兒童用卷五 尋常小學日本歷史兒童用卷六 尋常小學日本歷史兒童用卷七 尋常小學日本歷史兒童用卷八 尋常小學日本歷史兒童用卷九 尋常小學日本歷史兒童用卷十 尋常小學日本歷史兒童用卷十一 尋常小學日本歷史兒童用卷十二 尋常小學日本歷史兒童用卷十三 尋常小學日本歷史兒童用卷十四 尋常小學日本歷史兒童用卷十五 尋常小學日本歷史兒童用卷十六 尋常小學日本歷史兒童用卷十七 尋常小學日本歷史兒童用卷十八 尋常小學日本歷史兒童用卷十九 尋常小學日本歷史兒童用卷二十	尋常小學地理兒童用卷一 尋常小學地理兒童用卷二 尋常小學地理兒童用卷三 尋常小學地理兒童用卷四 尋常小學地理兒童用卷五 尋常小學地理兒童用卷六 尋常小學地理兒童用卷七 尋常小學地理兒童用卷八 尋常小學地理兒童用卷九 尋常小學地理兒童用卷十 尋常小學地理兒童用卷十一 尋常小學地理兒童用卷十二 尋常小學地理兒童用卷十三 尋常小學地理兒童用卷十四 尋常小學地理兒童用卷十五 尋常小學地理兒童用卷十六 尋常小學地理兒童用卷十七 尋常小學地理兒童用卷十八 尋常小學地理兒童用卷十九 尋常小學地理兒童用卷二十	尋常小學毛筆畫帖教師用 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖 尋常小學毛筆畫帖	尋常小學給筆畫帖教師用 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖 尋常小學給筆畫帖	尋常小學新定畫帖教師用 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖 尋常小學新定畫帖

高等小學校

第一學年

教科目	年級
日本歷史	第一學年
地理	第一學年

○關東都督府告示第六十三號(官報三月十八日)

明治四十三年三月三號三府令第三號ニ依リ左記各所經費ノ一部ハ渡切ヲ以テ之ヲ當該主任官ニ交付ス

明治四十三年三月十一日

三洲堂公學堂
小平島公學堂

金州小學校會館分教場
金州小學校總子高分教場

普蘭店公學堂
鮑子高公學堂

旅順屠獸場
戰利品陳列所

○關東都督府告示第六十四號(官報三月十八日)

明治四十三年三月三號三府令第三號渡切費ノ支辨ニ屬スル種目左ノ通定ム

明治四十三年三月十一日

小學校公學堂

新炭油類、諸帳簿及諸用紙類、筆墨印肉類、致授用手工材料、黑板塗布料、黑板拭、其ノ他消耗品、式日運動會生徒給與品及急救藥、掃除及點燈用雜品、通信運搬費、備人諸給與

旅順屠獸場

新炭油類、諸帳簿及諸用紙類、筆墨印肉類、消毒及檢查用藥品、其ノ他消耗品、掃除用及點燈用雜品、通信運搬費(電話費ヲ除ク)、備人諸給與(居夫給料)

戰利品陳列所

薪炭油類、諸帳簿及諸用紙類、筆墨印肉類、陳列品保存用藥品、其ノ他消耗品、參觀人接待用茶、掃除及點燈用雜品、通信運搬費(電話費ヲ除ク)、備人諸給與

○關東都督府告示第六十七號(官報三月三十日)

明治四十三年三月二十二號ニ依リ銀ノ價格ヲ明治四十三年三月十五日以降銀一圓ニ付金八十四錢ニ改定ス

明治四十三年三月十四日

關東都督 子爵大島義昌

關東都督 子爵大島義昌

○内閣告示第二號

明治四十一年四月十二日内閣告示第五號鐵道管理局ノ名稱位置及管理區域中中部鐵道管理局ノ稱「米原魚津間及支線」ヲ「米原泊間及支線」ニ改メ本月十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年四月十五日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

○内閣告示第三號

北海道ニ種馬牧場ヲ設置シ其ノ名稱位置左ノ通定ム

明治四十三年四月二十日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

名稱 十勝種馬牧場

位置 北海道十勝國河東郡音更村

○鐵道院告示第二十三號

明治二十九年四月四日遞信省告示第四百四十二號急行列車券規程第一條中「上野、平間」ノ次ニ「上野、福島」間ヲ追加シ本年四月二十一日ヨリ施行ス

明治四十三年四月六日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

〔參照〕

遞信省告示第四百四十二號急行列車券規程明治三十九年四月二日抄録
第一條 新橋名古屋間、新橋神戸間、新橋下關間及上野、平間ニ運轉スル急行列車ニ乘車スルモノハ乘車券ノ外更ニ急行列車券ヲ購求スヘシ

○鐵道院告示第二十四號

明治三十四年一月遞信省告示第三十七號鐵道作業局 大貨物運賃手數料及等級表、同三十四年五月同第二十二號鐵道作業局火藥類運賃及發著手數料、同三十四年六月同第二十五號鐵道作業局大貨物運賃料、同三十九年九月同第四百號鐵道作業局大貨物運賃斤級同噸級運賃、同三十九年十月同第四百六十四號鐵道作業局大貨物貨切扱運賃(石油類及摺附木各種ヲ含ム)及級外品第一種生獸類運賃

○鐵道院告示第二十五號
橫濱線ニ準用シ來ル五月一日ヨリ之ヲ施行ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第二十七號
久留米池木間 三哩五分

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第二十九號
橫濱市境町二丁目四十番地ニ設置ノ貨物案内所ヲ市内營業所ト改稱シ來四月十五日ヨリ乘車券類ノ發賣手小荷物ノ受託並ニ鐵道ノ連絡船車ノ接續其他一般旅客貨物ニ關スル各種案内等ノ事務ヲ取扱フ

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第三十號
明治四十三年四月十六日ヨリ北陸本線魚津泊間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

鐵道院總裁 男爵後藤新平

縣名	驛間哩	計	縣名	驛間哩	計
東神奈川	四八八	四八八	東神奈川	四八八	四八八
小机	三六	五二四	湘野邊	一七六	六六〇
中山	二七	五五一	橋木	二〇〇	八六〇
長津田	二九	五八〇	相原	二二〇	一〇八〇
原田町	三六	六一六	八王子	二六〇	一三六〇
			計		一三六〇

○鐵道院告示第二十六號
明治四十三年四月二十日ヨリ鹿兒島本線久留米羽犬塚間ニ荒木停車場ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第二十八號
明治三十九年 遞信省告示第四百四十二號急行列車券規程第一條中ノ「上野福島間」ヲ「上野郡山間」ト改正シ本年四月二十一日ヨリ施行ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第二十九號
明治四十三年四月十三日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第三十號
明治四十三年四月十六日ヨリ北陸本線魚津泊間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

鐵道院總裁 男爵後藤新平

魚津三日市間 四哩〇分
三日市生油間 二哩五分

生地入替間 五哩〇分
入番泊間 三哩二分

○鐵道院告示第三十一號
明治四十一年 鐵道院告示第四號鐵道管理局内各事務所ノ名稱位置及所管區域中中部鐵道管理局金澤運輸事務所所管區域米原魚津間及支線ヲ「米原泊間及支線」ト保線事務所所管區域「米原魚津間」ヲ「米原泊間」ト同出納事務所所管區域「長濱魚津間及支線」ヲ「長濱泊間及支線」ト改メ本月十六日ヨリ之ヲ施行ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第三十二號

明治四十三年四月十五日 告示 鐵道院第三十二號 第三十三號 第三十四號 第三十五號 第三十六號
明治四十三年四月十五日 告示 鐵道院第三十二號 第三十三號 第三十四號 第三十五號 第三十六號
北陸本線(米原泊間及貨物支線)ニ改ム

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第三十三號

明治四十三年四月十五日 告示 鐵道院第三十三號 第三十四號 第三十五號 第三十六號
明治四十三年四月十五日 告示 鐵道院第三十三號 第三十四號 第三十五號 第三十六號
局内ノ各保線事務所ヲ削除シ本月十六日ヨリ之ヲ施行ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第三十四號

明治四十三年四月十五日 告示 鐵道院第三十四號 第三十五號 第三十六號
明治四十三年四月十五日 告示 鐵道院第三十四號 第三十五號 第三十六號
局内ノ各保線事務所ヲ削除シ本月十八日ヨリ之ヲ施行ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第三十五號

明治四十三年四月三十日限リ西成線福島停車場ニ於テ一般大貨物ノ取扱ヲ廢止ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第三十六號

明治四十三年五月十六日ヨリ函館本線札幌白石間ニ苗穂停車場ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始ス其
哩程左ノ通

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

一哩四分

苗穂白石間

二哩二分

○鐵道院告示第三十七號

明治四十一年十月十二日鐵道院告示第四號鐵道管理局内各事務所ノ名稱位置及所管區域中九州鐵道管理局内門司若松兩運輸事務所及門司若松兩保線事務所ハ本月三十日限リ之ヲ削除ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○宮内省告示第四號

宮内傳染病豫防令ノ規定ニ依リ神戸市ノ「ベスト」有病地ノ指定ヲ解除ス
明治四十三年四月二十六日 宮内大臣 子爵渡邊千秋

○外務省告示第二號

明治四十三年四月十二日南亞弗利加ケープ、タウンニ帝國名譽領事館ヲ設置セリ
明治四十三年四月十三日 外務大臣 伯爵小村壽太郎

○內務省告示第五十五號

一演藝寶典 全一冊
東京市京橋區南八丁 伊藤敬次郎 發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十三年三月三十日發
賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

○內務省告示第五十六號

明治四十三年四月一日 告示 鐵道院第三十七號 宮内省第四號 外務省第二號 內務省第五十五號 第五十六號 七七五
郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中五條警察署ノ部左ノ通改メ七條警察署舞鶴警察署及新
舞鶴警察署ノ部ヲ追加シ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○內務省告示第五十六號

明治四十三年四月一日 告示 鐵道院第三十七號 宮内省第四號 外務省第二號 內務省第五十五號 第五十六號 七七五
郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中五條警察署ノ部左ノ通改メ七條警察署舞鶴警察署及新
舞鶴警察署ノ部ヲ追加シ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○內務省告示第五十六號

明治四十三年四月一日 告示 鐵道院第三十七號 宮内省第四號 外務省第二號 內務省第五十五號 第五十六號 七七五
郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中五條警察署ノ部左ノ通改メ七條警察署舞鶴警察署及新
舞鶴警察署ノ部ヲ追加シ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

內務大臣 法學博士男爵平田東助

法學博士男爵平田東助

法學博士男爵平田東助

法學博士男爵平田東助

法學博士男爵平田東助

法學博士男爵平田東助

法學博士男爵平田東助

法學博士男爵平田東助

等級	種類	品名	目	所有者
丙種	刀劍	鎧後國行平作	一口	東京府東京市麹町區永田町
同上	同上	鎧備州万壽住右衛門尉吉次作	一口	同
同上	同上	鎧備包	一口	同
同上	同上	鎧長光(初代)	一口	同
同上	同上	鎧前國新田住親依元	一口	同
同上	同上	鎧則宗	一口	同
同上	同上	鎧守家(初代)	一口	同
同上	同上	鎧定利	一口	同
同上	同上	鎧(福岡一文字)	一口	同
同上	繪畫	紙本着色山中長俊像 鎧益ノ變アリ	一幅	京都府京都市下京區庵町
甲種四等	同上	水遣阿彌陀如來及兩脇侍像	三幅	同本願寺町
甲種四等	同上	水遣後白河法皇御像	一幅	同
甲種四等	繪畫	絹本着色准師佛母像	十二幅	同葛野郡大森村
丙種	書籍	紙本墨書 黃帝內經明堂三十三卷アリ	二十六卷	同花園村
甲種四等	繪畫	絹本着色愛染明王像	一幅	同宇治郡國關村

同上	同上	絹本着色尊勝曼荼羅圖	一幅	同光
同上	彫刻	水遣馬沙門天立像	一軀	同宇治村
丙種	文書	紙本墨書 流記帳追記寛弘二年利源ノ奥書アリ	二卷	同緩野郡宇治田原村
甲種四等	彫刻	木造不動明王及二童子立像	三軀	同相樂郡當尾村
甲種四等	同上	木造鍍金剛神立像	一軀	同加佐郡志樂村
同上	同上	木造深沙大將立像	一軀	同
同上	繪畫	絹本着色淨土曼荼羅圖	一幅	大阪府大阪市東區上本町
同上	彫刻	水遣聖觀音立像	一軀	同南區大和町
同上	繪畫	絹本着色釋迦三尊像	一幅	同堺市大町
同上	同上	絹本着色開寶王圖	一幅	同新在家町東四丁
同上	同上	紙本着色大寺緣起 附筆者目錄一卷	三卷	同甲斐町東二丁
丙種	書籍	紙本墨書毛詩鄭箋卷本(周南關雎篇)	一卷	同東成郡平野町
甲種四等	繪畫	絹本着色文殊渡海圖	一幅	同南河内郡磯長村
甲種四等	同上	紙本着色神功皇后緣起 永享五年ノ奥書アリ	二卷	同古市村
同上	同上	絹本着色譽田宗唐緣起 永享五年ノ奥書アリ	三卷	同

丙種	經文	紙本墨書寶篋印陀羅尼經 道喜、段アリ	一卷	同天野村	剛	寺
同上	文書	水造制札 文治元年十二月トアリ	一枚	同中河内郡北高安村	社	社
同上	刀劍	絲卷太刀 銘友成(時代不詳)	一口	埼玉縣入間郡川越町	院	院
同上	同上	絲卷太刀 銘一(福岡一文字)	一口	栃木縣上野郡日光町	宮	宮
同上	同上	絲卷太刀 銘國宗(備前三郎)	一口	同	宮	宮
同上	同上	革柄鍔色新刀 銘助真	一口	同	宮	宮
同上	同上	白鍔柄合口短刀 無銘傳行光作	一口	同	宮	宮
同上	文書	紙本墨書報尊願文 文永六年三月二十五日トアリ	一卷	奈良縣奈良市般若寺町	寺	寺
同上	同上	紙本墨書阿彌陀佛過料資財帳 神龜元年八月トアリ	一卷	同	寺	寺
同上	同上	紙本墨書大安寺資財帳 天平十九年二月トアリ	一卷	同	寺	寺
甲種三等	彫刻	木造地藏菩薩半跏像	一區	同	寺	寺
同上	同上	木造舞樂面 披頭 蓮華樂	二面	同	寺	寺
同上	同上	木造舞樂面 天養元年云々トアリ	三基	同	寺	寺
同上	同上	木造舞樂面 附舞臺	一區	同	寺	寺
同上	同上	乾漆虚空藏菩薩半跏像(虚空藏堂安置)	一區	同	寺	寺
甲種四等	工美術	墨澤小童(首掛 墨澤利子 墨澤親)	一箇	同	寺	寺
同上	彫刻	木造藥師如來坐像(所在大日堂)	一區	同	寺	寺
同三等	工美術	水造厨子(千禮佛厨子)	一基	同	寺	寺

同上	彫刻	木造不動明王坐像	一區	同	剛	庵
丙種	經文	紙本墨書大般若經 和銅五年ノ奥書アリ	二十七册	滋賀縣甲賀郡土山村	常	寺
同上	同上	紙本墨書大般若經 和銅五年ノ奥書アリ	百四十二册	同	太	寺
同上	同上	紙本墨書大般若經 和銅五年ノ奥書アリ	四十三册	同	見	庵
甲種四等	繪畫	紙本著色染雲寺緣起(附後奈良院宸翰墨二枚及消息一卷)	二卷	同	桑	寺
同三等	同上	紙本著色三月經受茶羅圖	一幅	同	舍	院
丙種	刀劍	傳倫光作 太刀表ニ御前圖(以下不明)表ニ奥圖二年云々ノ銘アリ	一口	山形縣米澤市雨堀堀町	上	社
同上	繪畫	絹本著色毛利元就像	一幅	島根縣松江郡湯湖村	島	寺
甲種四等	同上	絹本著色一字金輪受茶羅圖	一幅	同	同	寺
乙種	文書	紙本墨書後醍醐天皇御願文 元弘二年八月十九日トアリ	一卷	同	同	寺
同上	同上	紙本墨書日トアリ 名和長年執達狀 建武三年二月九日トアリ	二卷	同	同	寺
甲種三等	繪・畫	絹本著色聖觀音像	一幅	同	同	寺
丙種	刀劍	太刀 銘了戒	一口	同	同	寺
同上	經文	紺紙金泥寶篋印陀羅尼經 蓮卷ノ序アリ	一卷	同	同	院
同上	經文	紺紙金泥泥法華經(卷第七) 天曆三年ノ奥書アリ	一卷	同	同	寺
乙種	文書	紙本墨書定龍起請文 元四年トアリ 附同案文(殘簡)一通	一卷	同	同	寺

香 港 幣 銀	一ドルヲル	八六三
英 領 印 度 貨	一ルピー	六六〇
暹 羅 貨	一チカル	七六〇

○大藏省告示第五十號

明治三十九年六月大藏省告示第七百三十六號國債事務取扱店ノ位置及名稱中宮崎代理店ノ位置ヲ本年三月二十二日ヨリ宮崎縣宮崎郡宮崎町大字上別府ニ變更ス

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第五十一號

一舊總武鐵道株式會社第二回社債ノ内額面五萬圓

抽籤執行日 本年四月十一日

償還期日 本年五月二日

右償還ス

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第五十二號

滅失ニ因リ效力ヲ失ヒタル記名國債證券左ノ如シ

證券種類	額面金額	記號番號	附屬利札	代證券交付年月日	任辨別開始利札ニ對スル代現金仕拂年月日	記名者
整理公債證券	五百圓	五〇五三九	明治四十二年十二月以以降	明治四十三年三月十一日	明治四十三年三月十一日	濱口 健兵衛
軍人公債證券	五拾圓	四七八四八	同四十二年六月以以降	同七月	同年三月七日	高橋 百次郎
同	同	同	同	同	但同四十二年六月以以降	同

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第五十三號

明治四十二年三月大藏省告示第五十號中央金庫兩國鐵道派出所ノ位置ヲ鐵道院兩國橋驛構内ニ福島本金庫福島鐵道派出所ノ位置ヲ鐵道院福島運輸事務所構内ニ秋田本金庫秋田鐵道派出所ノ位置ヲ鐵道院秋田運輸事務所構内ニ本年四月一日ヨリ改正ス

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十三年四月二日

仙臺 仙臺本金庫仙臺鐵道派出所 鐵道院仙臺運輸事務所構内

○大藏省告示第五十四號

明治三十二年法律第八十四號家祿賞典祿處分法施行法ニ依リ發行スル大日本帝國政府五分利公債證券ノ内本年三月中日本銀行ニ交付シタルモノ左ノ如シ

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十三年四月七日

○大藏省告示第五十五號

長野稅務監督局管内三條稅務署ヲ明治四十三年四月十一日新潟縣南蒲原郡三條町大字三條字上町三百四十九番地ニ移ス

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十三年四月七日

○大藏省告示第五十六號

明治四十年二月大藏省告示第十五號京城本金庫所屬鏡城支金庫ヲ本年五月一日ヨリ韓國羅南ニ移シ

羅南支金庫、改稱ス

明治四十三年四月七日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第五十七號
一大日本帝國政府四分利公債證書(第一)見本
右各國債事務取扱店ニ配置ス

明治四十三年四月八日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第五十八號

明治四十一年^六大藏省告示第百號中在ノ通改正シ告示ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十三年四月十一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

第二條第一號中「二圓四十二錢ヲ二圓四十錢ニ改ム」ニ「二圓三十五錢ヲ二圓三十三錢ニ改ム」
同條第二號中「二圓四十一錢ヲ二圓三十九錢ニ改ム」
第三條第二號中「二圓一錢ヲ九十九錢ニ改ム」
同條第三號中「二圓ヲ九十八錢ニ改ム」

第七條 第二條第一號、第二號及第三條第二號、第三號ノ價格ハ三田尻專賣支局門司出張所ニ於テ
賣渡ス價格トス

三田尻專賣支局門司出張所以外ノ鹽專賣官署ニ於テ臺灣鹽又ハ關東州鹽ヲ賣渡ス場合ニ於テハ
第二條第一號、第二號及第三條第二號、第三號ノ價格ノ外門司ニ於ケル政府ノ購買價格ト其ノ地
ニ於ケル購買價格トノ差額ヲ加算スルモノトス

〔參照〕

大藏省告示第百號明治四十一年六月十六日抄錄
第二條 鹽賣規則第二條第二項ニ依リ特ニ指定シタル鹽元賣捌入ニ賣渡ス鹽ノ定價左ノ如シ

一 臺灣鹽 上等鹽金二圓四十二錢 中等鹽金二圓三十五錢但シ包袋シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ
二 關東州鹽 金二圓四十一錢
第三條 鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽及專賣鹽特別定價
賣渡及交付金下付規則第一條ノ用途ニ使用スル鹽ノ賣渡價格左ノ如シ

一 臺灣鹽 上等鹽金一圓一錢 中等鹽金九十四錢但シ包袋シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ
二 關東州鹽 上等鹽金一圓一錢 中等鹽金九十四錢但シ包袋シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ
三 關東州鹽 金一圓

鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽及專賣鹽特別定價
賣渡及交付金下付規則第一條ノ用途ニ使用スル鹽ノ賣渡價格左ノ如シ

○大藏省告示第五十九號
廣島稅務監督局管内山口稅務署ヲ明治四十三年四月十八日山口縣吉敷郡山口町大字大附六番地ニ
移ス

明治四十三年四月十四日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第六十號
仙臺稅務監督局管内佐沼稅務署ヲ明治四十三年四月十六日宮城縣登米郡佐沼町三百九番地ニ移
ス

明治四十三年四月十五日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第六十一號
無記名國債證券紛失ニ因リ代證券ヲ交付シタルモノ左ノ如シ

明治四十三年四月二十一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

證券種類 額面金 記號 番號 附屬 利札 紛失屆出年月日
平本公債證券 五拾圓 也 登錄九八七 明治三十五年十二月渡以降 明治三十五年十一月二十四日

○大藏省告示第六十二號
廣島稅務監督局管内美禰稅務署ヲ明治四十三年五月一日山口縣美禰郡大田村大字大田字近光五千

第二回

一裏面記載排定期日

明治四十三年四月十九日、同五月三十日、同六月三十日、同八月十日

○大藏省告示第六十七號

大阪稅務監督局管内洲本稅務署ヲ明治四十三年五月一日兵庫縣津名郡洲本町ノ内築地町二百五十五番地ニ移ス

明治四十三年四月三十日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○陸軍省告示

明治三十七八年戰役又ハ韓國暴徒鎮壓事件ニ從事シ死歿シタル軍人軍屬等ニテ靖國神社ニ合祀未濟ノ者ヲ今般特旨ヲ以テ同社ニ合祀被 仰出候條來ル五月五日招魂式執行六日臨時祭ヲ舉行ス

明治四十三年四月二十日

陸軍大臣 子爵寺內正毅
海軍大臣 男爵齋藤 實

○陸軍省告示第十一號

遊就館寄附寄託品取扱規則左ノ通定ム

明治四十三年四月二日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

遊就館寄附寄託品取扱規則

第一條 遊就館ハ本規則ニ依リ武器ノ沿革ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ寄附又ハ寄託ヲ受ツ

第二條 遊就館ニ陳列ノ爲物品ヲ寄附セムトスルトキハ品名形狀由來書ヲ詳記シ遊就館ニ申出ツ

前項ノ申出アリタルトキハ出品審査委員ノ議ニ付シ其ノ諾否ヲ決定ス但シ特別ノ事情アルモノ

ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 前條ノ寄附ヲ受クル場合ニ於テハ時宜ニ依リ遊就館ニ於テ荷造及ヒ運搬費ヲ支辨スルコトアルヘシ

第四條 寄託品ヲ分チテ甲種出品及乙種出品トス

甲種出品ハ遊就館ヨリ特ニ出品ヲ請求シタルモノ乙種出品ハ所有者ノ申出ニ依リ出品ヲ承諾シタルモノヲ謂フ

第五條 乙種ノ出品ヲ爲サムトスル者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ遊就館ニ申出ツヘシ但シ書面ヲ以テ出品ヲ申出ツルトキハ申出書ニ物品ノ性質及由來ヲ附記シ要スレハ略圖ヲ添付スヘシ

他人ノ所有ニ屬スル物件ヲ出品スル場合ニ於テハ前項ノ外所有者ノ承諾書ヲ提出スルヲ要ス

第六條 乙種出品ノ申出アリタルトキハ出品審査委員ノ議ニ付シ其ノ諾否ヲ決スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ審査上必要アルトキハ出品申出者ニ對シ物品ノ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

第七條 出品ノ荷造費及運搬費ハ甲種出品ニ在リテハ遊就館ニ於テ支辨シ乙種出品ニ在リテハ出品者ノ負擔トス

第八條 出品ニ對シテハ現品受領ト共ニ預證書ヲ出品者ニ交付ス

預證書ハ一品ニ付一枚トス但シ場合ニ依リ數品ニ付一枚ト爲スコトアルヘシ

預證書ハ附録雛形ニ依ル

第九條 出品ハ鄭重ニ之ヲ保管シ遊就館ニ於テ必要ノ手入ヲ爲スモノトス

第十條 出品ノ配列保管等ハ遊就館ノ定ムル所ニ依ル

第十一條 出品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ遊就館ハ其ノ損害ヲ賠償ス但シ左ノ事項ニ該當スルトキハ此ノ限リニ在ラス

一 出品者ノ過失ニ因リタルトキ

二 不可抗力ニ因リタルトキ

三 物品ノ性質又ハ瑕疵ニ因リタルトキ
 第十二條 前條ノ賠償金額ハ遊就館ト出品者トノ間ニ之ヲ豫定シタル場合ヲ除クノ外出品審査委員ノ議決ニ依ル
 前項議決ノ金額ニ對シ出品者ハ異議ヲ申出ツルコトヲ得ス
 第十三條 亡失ノ物品ヲ發見シタルトキハ現品ヲ出品者ニ返還シ賠償金ヲ交付シタルモノハ其ノ金額ヲ遊就館ニ還納セシム但シ賠償金ヲ還納スルコト能ハサルトキハ其ノ還納ニ至ル迄現品ヲ遊就館ニ留置ス
 第十四條 毀損ノ物品ニ對シ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テ毀損品ノ處分ハ遊就館及出品者雙方ノ協議ニ依ルモノトス
 第十五條 遊就館ハ出品ノ摸寫、模造、撮影等ヲ爲シテ參考ニ供シ又ハ之ヲ發賣スルコトヲ得前項ノ規定ハ出品者ニ於テ豫メ摸寫、模造、撮影等ヲ禁スルコトヲ申出タルモノニハ之レヲ適用セス但シ他ノ出品ト共ニ陳列ノ狀況ヲ撮影スル場合ハ此ノ限リニ在ラス
 第十六條 出品ノ摸寫、模造、撮影ヲ爲サントスル者ハ出品者ノ承諾書ヲ携帶シ遊就館ニ申出テ其ノ承認ヲ受クヘシ
 第十七條 出品ノ預期間ハ三箇年トス前項ノ期限満ツルトキハ出品者ニ通知シ更ニ出品ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ都度預證書ノ書換ヲ爲スモノトス
 第十八條 出品預期間ノ計算ハ現品ノ受領六月以前ニ係ルモノハ其ノ年一月ヨリ起算シ七月以後ニ係ルモノハ其ノ年七月ヨリ起算ス
 第十九條 第十七條ノ期間内ト雖モ遊就館ノ都合ニ依リ出品ヲ返付スルトキハ出品者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
 第二十條 預證書記載ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ出品者ヨリ其ノ都度之ヲ遊就館ニ届出ツヘシ

出品ヲ讓渡シタルトキハ賣主及買主連署ヲ以テ預證書ノ書換ヲ請求スルモノトス
 第二十一條 甲種出品ヲ返付シ又ハ遊就館ノ都合ニ依リ乙種出品ヲ返付スル場合ニ於テハ所有者ノ申出ニ依リ遊就館ノ費用ヲ以テ其ノ居所ニ遞送スヘシ
 第二十二條 出品ノ預證書ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ二人以上ノ確實ナル保證人ヲ立テ證書ノ再交付又ハ引換ヲ請求スルコトヲ得但シ紛失シタル場合ニ於テハ其ノ證明確ナル場合ノ外遊就館ノ定ムル所ニ依リ官報及新聞紙ニ廣告シタル後六箇月ヲ經テ發見モサルトキ更ニ證書ヲ交付スルモノトス
 前項但書ノ場合ニ於テハ新聞廣告料ハ請求者ノ負擔トス
 第二十三條 紛失又ハ毀損ニ依リ證書ノ再交付又ハ引換ヲ爲シタルトキハ其ノ事由ヲ該證書ニ記載ス
 (雜形)
 共一

第 一	第 二
第 一	甲種出品預證書
第 二	特 徴
第 三	右本館ニ出品相成正ニ預リ候也
第 四	但シ預リ期限 年 月 日マテ

年月日 何誰殿 館長氏 名印

其二

乙種出品預證書

一品名

特徴

右本館ニ出品ノ申出ヲ承認シ正ニ預リ候也

但シ預リ期限 年 月 日 ヲテ

年月日 館長氏 名印

何誰殿

○陸軍省告示第十二號
明治三十七八年戰役又ハ韓國暴徒鎮壓事件ニ從事シ死歿シタル左記人名ノ者ヲ特旨ヲ以テ來ル五
月靖國神社ニ合祀 仰出サル
明治四十三年四月二十日 陸軍大臣 子爵寺內正毅

陸軍歩兵大尉正七位勳五等功五級	大沼 政雄 新潟縣士族	陸軍輜重隊一等卒	足立矢之助 兵庫縣平民	陸軍歩兵一等正五位勳三級功四級	尾湯 清一 山口縣平民
陸軍歩兵中尉從七位勳六等	荒井 茂 梨井縣士族	陸軍歩兵一等卒	加藤 次平 德島縣平民	陸軍歩兵少尉正五位勳三級功四級	横山 新治 東京府士族
陸軍歩兵少佐從六位勳四等功五級	大島 三郎 石川縣士族	陸軍歩兵一等卒	山内 萬藏 愛媛縣平民	陸軍歩兵少尉正八位勳六等	野崎 齊三 同
陸軍歩兵中尉勳七等功六級	村山 隆次郎 佐賀縣平民	陸軍歩兵一等卒	山崎 勘吉 高知縣平民	陸軍歩兵少尉正八位勳六等	國行 義輔 山口縣士族
陸軍歩兵上等兵勳八等功七級	黒岩 久三郎 宮崎縣平民	陸軍歩兵一等卒	越智源太郎 愛媛縣平民	陸軍歩兵特務曹長勳六等功七級	篠井 勝太郎 富山縣平民
陸軍歩兵大尉正七位勳五等	中野 寛五郎 藤手縣平民	陸軍歩兵一等卒	藤戸 松治 香川縣平民	陸軍歩兵特務曹長勳六等功七級	篠井 勝太郎 富山縣平民
陸軍歩兵一等卒勳八等	千葉 清助 同	陸軍歩兵一等卒	田邊 繁三 愛媛縣平民	陸軍歩兵特務曹長勳六等功七級	佐久間 三郎 千葉縣平民
陸軍工兵一等卒勳八等	山本 太郎 青森縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	廣井 八十清 高知縣平民	陸軍歩兵一等卒勳八等	桂井 潤七 青森縣平民
陸軍輜重隊一等卒勳八等	小高 高之助 藤手縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	三好 秋次 香川縣平民	陸軍歩兵一等卒勳八等	野口 源兵衛 埼玉縣平民
陸軍輜重隊一等卒勳八等	江刺 家八十八 青森縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	大森 春吉 香川縣平民	陸軍歩兵一等卒勳八等	佐竹 新吉 宮城縣平民
陸軍歩兵中尉勳七等	小川 榮太郎 石川縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	遠山 茂吉 香川縣平民	陸軍歩兵一等卒勳八等	可兒 重雄 梨井縣士族
陸軍歩兵上等兵勳八等	竹中 吉太郎 同	陸軍輜重隊一等卒勳八等	形見 作五郎 梨井縣平民	陸軍歩兵一等卒勳八等	藤 政吉 岐阜縣平民
陸軍歩兵一等卒勳八等	長澤 藤次郎 富山縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	樋口 文吉 大阪府平民	陸軍歩兵一等卒勳八等	繁田 仙太郎 東京府平民
陸軍歩兵二等卒勳八等	松永 藤作 石川縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	紙谷 平太郎 北海道平民	陸軍歩兵一等卒勳八等	松本 信次郎 群馬縣平民
陸軍歩兵二等卒勳八等	山田 辨二 岐阜縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	中山 三藏 同	陸軍歩兵一等卒勳八等	岩崎 雄治郎 千葉縣平民
陸軍輜重隊一等卒勳八等	高橋 清作 福井縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	大口 典三郎 同	陸軍歩兵一等卒勳八等	小柳 淳三 新潟縣平民
陸軍輜重隊一等卒勳八等	村上 平作 富山縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	三島 萬次郎 埼玉縣平民	陸軍歩兵一等卒勳八等	石田 常五郎 群馬縣平民
陸軍歩兵二等卒勳八等	片山 宗一 岡山縣平民	陸軍輜重隊一等卒勳八等	浦野 常吉 福岡縣士族	陸軍歩兵一等卒勳八等	宮村 通象 長野縣平民
陸軍輜重隊一等卒勳八等		陸軍輜重隊一等卒勳八等	下瀬 周藏 大分縣平民	陸軍工兵上等兵	中澤 勝市 同
		陸軍輜重隊一等卒勳八等		陸軍工兵上等兵	江木 安太郎 愛知縣平民
		陸軍輜重隊一等卒勳八等		陸軍工兵上等兵	小鹿 芳松 同

陸軍歩兵一等卒 勳八等	矢島 龍藏 藥川縣平民	陸軍騎兵一等卒 勳八等	大瀧 實一 新潟縣平民	陸軍憲兵一等卒	岡山子之吉 茨城縣平民
同	柴崎茂十郎 東京府平民	同	宮榮 嘉藏 宮城縣平民	陸軍憲兵二等卒	寺師 廣雄 廣島縣士族
同	久保田右市 同	同	山谷 桂助 新潟縣平民	陸軍憲兵三等卒	石川太一 愛知縣平民
同	高梨 佐助 熱河縣平民	陸軍砲兵一等卒	木村與次郎 同	陸軍憲兵四等卒	佐藤 乾 新潟縣士族
同	根本 久藏 同	陸軍歩兵二等卒 勳八等	遊佐萬治郎 宮城縣平民	陸軍憲兵五等卒	長原 長藏 慶手縣平民
同	高橋 角藏 埼玉縣平民	同	山田菊次郎 熱河縣平民	陸軍憲兵六等卒	同
同	北川 榮一 長野縣平民	同	藤田定五郎 同	陸軍憲兵七等卒	同
同	坂井權三郎 新潟縣平民	同	河本 伸三 同	陸軍憲兵八等卒	同
同	小松粉一郎 長野縣平民	同	一ノ瀬竹十郎 山梨縣平民	陸軍憲兵九等卒	同
同	横山 成治 同	同	小林 作藏 長野縣平民	陸軍憲兵十等卒	同
同	江津 定重 同	同	熊井 林精 同	陸軍憲兵十一等卒	同
同	遠所宇喜知 新潟縣平民	同	朝倉喜兵衛 同	陸軍憲兵十二等卒	同
同	賭橋六一郎 同	同	小林 芳助 同	陸軍憲兵十三等卒	同
同	田邊 石平 同	同	松野 義雄 同	陸軍憲兵十四等卒	同
同	清水二之助 岐阜縣平民	同	矢花 角市 同	陸軍憲兵十五等卒	同
同	横山要次郎 三重縣平民	同	柳澤謙一郎 同	陸軍憲兵十六等卒	同
同	服部 對治 岐阜縣平民	同	原 孫次郎 三重縣平民	陸軍憲兵十七等卒	同
同	戸田 喜七 同	同	早川 耕 岐阜縣平民	陸軍憲兵十八等卒	同
同	大内 仁作 同	同	山口榮五郎 三重縣平民	陸軍憲兵十九等卒	同
同	進藤清五郎 同	同	小松 嘉一 青森縣平民	陸軍憲兵二十等卒	同
同	横井 庄松 三重縣平民	同	對馬 豐吉 同	陸軍憲兵二十一等卒	同
同	平松松太郎 慶手縣平民	同	島山 勉治 秋田縣平民	陸軍憲兵二十二等卒	同
同	木村 勇吉 青森縣平民	同	石澤 忠八 青森縣平民	陸軍憲兵二十三等卒	同
同	長谷川三之助 秋田縣平民	同	田浦 玉藏 秋田縣平民	陸軍憲兵二十四等卒	同
同	伊東 徳松 同	同	河野淺次郎 新潟縣平民	陸軍憲兵二十五等卒	同
同	沼田 金作 青森縣平民	同	須澤 重三 長野縣平民	陸軍憲兵二十六等卒	同
同	松守 豊松 福井縣平民	同	古畑七郎治 同	陸軍憲兵二十七等卒	同
同		同		陸軍憲兵二十八等卒	同
同		同		陸軍憲兵二十九等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十一等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十二等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十三等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十四等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十五等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十六等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十七等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十八等卒	同
同		同		陸軍憲兵三十九等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十一等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十二等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十三等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十四等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十五等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十六等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十七等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十八等卒	同
同		同		陸軍憲兵四十九等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十一等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十二等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十三等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十四等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十五等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十六等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十七等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十八等卒	同
同		同		陸軍憲兵五十九等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十一等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十二等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十三等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十四等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十五等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十六等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十七等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十八等卒	同
同		同		陸軍憲兵六十九等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十一等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十二等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十三等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十四等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十五等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十六等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十七等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十八等卒	同
同		同		陸軍憲兵七十九等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十一等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十二等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十三等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十四等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十五等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十六等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十七等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十八等卒	同
同		同		陸軍憲兵八十九等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十一等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十二等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十三等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十四等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十五等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十六等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十七等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十八等卒	同
同		同		陸軍憲兵九十九等卒	同
同		同		陸軍憲兵一百等卒	同

○陸軍省告示第十三號
 明治三十四年陸軍省告示第九號ノ表中函館要塞ノ部第二行事項及區域ノ區畫ヲ左ノ通改正ス
 明治四十三年四月二十五日
 陸軍大臣 子爵寺内正毅

〔参照〕

明治三十四年四月十日陸軍省告示第九號ハ各要塞地ニ於ケル禁止制限解除ノ事項及其區域ノ件ナリ
 ○陸軍省告示第十四號
 明治四十年陸軍省告示第十號臨時陸軍建築部支部出張所中小倉支部ノ出張所名稱及位置ニ左ノ通
 追加ス
 明治四十三年四月二十九日
 陸軍大臣 子爵寺内正毅

日出生張出張所

大分縣宇佐郡南院内村

○海軍省告示第五號
 左記海軍望樓ヲ廢ス

明治四十三年四月一日

大瀬海軍望樓

西郷海軍望樓

海軍大臣 男爵齋藤實

○海軍省告示第六號

本年當省告示第一號ニ基ツク海軍機關學校生徒志願者ニ對スル身體検査ハ左記日割ノ通開始施行ス
 明治四十三年四月六日
 海軍大臣 男爵齋藤實

明治四十三年四月 告示

陸軍省第十三號 第十四號 海軍省第五號 第六號

地名	身體検査開始ノ日	同上終結ノ豫定日	地名	身體検査開始ノ日	同上終結ノ豫定日
東京市	四月十八日	同月二十四日	熊本市	四月二十四日	同月二十六日
京都市	四月二十四日	同月二十六日	金澤市	四月二十八日	同月二十九日
仙臺市	四月二十四日	同月二十六日	長野市	四月二十八日	同月二十九日
名古屋市	四月二十七日	同月二十九日	山口町	四月二十八日	同月二十九日
廣島市	四月二十七日	同月二十九日	鹿兒島市	四月二十九日	同月二十九日

志願者ハ前項身體検査開始ノ一日前ニ各其ノ受驗地ノ府縣廳(東京ハ海軍經理學校)ニ就キ豫メ自己ノ身體検査ヲ受ツヘキ日割ヲ承合スヘク其ノ他志願者心得第二十一條ノ各項ニ注意スヘシ

(注意)志願者心得ハ載セテ本年一月四日官報海軍省告示第一號中ニアリ

地方長官ハ市區町村長ヲシテ本告示ノ要領ヲ其ノ取扱ニ係ル志願者ニ通達セシムルカ又ハ其ノ役場ニ揭示公表セシムルヲ要ス

○海軍省告示第七號

吳軍港附近ノ海面ニ於テハ潜水艇ノ行動スルコト妙カラス然ルニ該艇ハ其ノ認識困難ナルニ付右ノ海面ヲ通航シ若ハ同海面ニ作業スル船舶ハ衝突等ノ危害ヲ豫防スル爲左ノ諸件ニ注意行動スヘシ

明治四十三年四月六日

海軍大臣 男爵齋藤實

一 潜水艇作業中ハ之ニ隨伴スル船艇ニ於テ見ヘ易キ所ニ大形赤旗二箇ヲ上下ニ少クモ二呎ヲ隔テテ連掲シ以テ附近ニ潜水艇ノ行動スルコトヲ示シ又要スルトキハ萬國船舶信號ニ依リ自船ヲ基點トシ潜水艇ノ行動シアル方位ヲ示ス

二 一般船舶前項ノ赤旗ヲ掲ケタル船艇ヲ認メタルトキハ可成之ト一俾以上ヲ隔テテ行動スヘシ若シ一般船舶ニ於テ之ニ接近スルノ必要アルトキハ(航行船舶ニ在リテハ直ニ行進ヲ停止シ)萬國船舶信號若ハ適宜ノ方法ヲ以テ赤旗ヲ掲ケタル船艇ニ其ノ旨ヲ信號シ許可ヲ得タル後發滅見張ヲ嚴ニシテ速力ニテ該船艇ニ近ツキ危險範圍其ノ他必要ナル告知ヲ受ケ然ル後慎重ニ行動スヘシ

三 潜水艇ハ避クヘカラサル事故アル場合ノ外一般船舶ノ常用航路ヲ避ケテ行動スヘキニ依リ一般船舶モ亦可成常用航路ヲ逸セサルコトヲ努ムヘシ

○海軍省告示第八號

海軍少主計候補生十二名採用候條本年六月ニ於テ年齡二十年以上二十八年末滿(明治十五年七月ヨリ同二十三年五月ヨリ)マケニニシテ出身志願ノ者ハ海軍高等武官補充條例竝ニ明治四十年七月海軍省令第十號ニ依リ本年五月十日迄ニ海軍省人事局長ニ出願スヘシ身體検査及學術試驗ハ本年五月二十日ヨリ築地海軍經理學校ニ於テ開始ス

海軍高等武官補充條例竝ニ明治四十年七月海軍省令第十號採用規則ヲ要スル者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ海軍省人事局長ニ申出ヘシ

明治四十三年四月七日

海軍大臣 男爵齋藤實

○司法省告示第十六號
指定倉庫營業者北海道函館區新濱町六番地柳田豐ハ今般廢業シタル旨函館地方裁判所長ヨリ報告アリタリ

明治四十三年四月十四日

司法大臣 子爵岡部長藏

○司法省告示第十七號

右供託法第五條第一項ニ依リ指定ス

明治四十三年四月十四日

○司法省告示第十八號

高知地方裁判所管内中村區裁判所清水出張所ニ備ヘアリシ左記ノ登記申請ニ關シ提出シタル建物ノ圖面滅失シタリ

前項ノ圖面ヲ提出シタル者ハ本年八月十五日迄ニ更ニ之ヲ同出張所ニ提出スヘシ

明治四十三年四月十四日

司法大臣 子爵岡部長職

司法大臣 子爵岡部長職

北海道函館區新濱町六番地 辨天倉庫株式會社

登記受付年月日	登記ノ目的	申請人氏名	同年九月四日	家督相續
明治三十年一月八日	登記ノ變更	坂本 芳太郎	同年一月十四日	家督相續
同年一月二十八日	登記ノ變更	久野 市太郎	同年三月十六日	家督相續
同年一月十日	登記	淺利 元次郎	同年四月二日	家督相續
同年三月二日	遺産相續	和泉 三郎	同年六月十一日	家督相續
同年四月十日	登記	上原 貞太郎	同年六月十九日	家督相續
同年七月一日	登記	山崎 重太郎	同年六月三十日	家督相續
同年三月二十九日	登記	山崎 善太郎	同年七月五日	家督相續
同年八月二十四日	登記	片岡 友八郎	同年八月五日	家督相續
同年九月四日	登記	安光 次郎	同年八月十九日	家督相續

同年四月八日	家督相續	岡谷 藤太郎	同年九月十三日	遺産相續
同年九月二十一日	同	内原 達馬	同年四月二十日	家督相續
同年一月八日	登記	福留 貞太郎	同年十一月二十七日	家督相續
同年九月二十日	家督相續	岡本 貞太郎	同年十月十一日	家督相續
同年十一月十五日	同	宮本 貞太郎	同年二月二十二日	家督相續
同年十二月三日	同	芝岡 貞太郎	同年三月十二日	家督相續
同年十二月十四日	同	山崎 貞太郎	同年十二月八日	家督相續
同年十二月二十四日	同	山崎 貞太郎	同年一月二十五日	家督相續
同年十二月八日	同	吉本 貞太郎	同年二月九日	家督相續
同年四月十二日	同	山崎 貞太郎	同年三月八日	家督相續
同年九月十四日	同	山崎 貞太郎	同年三月二十二日	家督相續
同年十一月五日	同	山崎 貞太郎	明治三十一年九月	家督相續
同年二月十二日	同	山崎 貞太郎	同年三月二十二日	家督相續
同年七月十日	同	山崎 貞太郎	同年四月八日	家督相續
同年八月二十三日	同	山崎 貞太郎	同年六月二十二日	家督相續
同年八月二十六日	同	山崎 貞太郎	同年十月二十二日	家督相續
同年十月十一日	同	山崎 貞太郎	同年十月二十六日	家督相續
同年十月三十日	同	山崎 貞太郎	同年十一月二十日	家督相續
同年一月八日	同	山崎 貞太郎	同年十二月十日	家督相續
同年一月三十日	同	山崎 貞太郎	同年六月一日	家督相續

同年七月六日 賣	同年七月二十三日 同	同年十二月十七日 書	同年十二月三十日 賣	同年五月四日 遺產相續	同年五月十八日 賣	同年五月三日 同	同年二月三日 同	同年三月二十九日 同	同年十二月八日 家督相續	同年五月六日 賣	同年二月七日 家督相續	同年五月十二日 同	同年三月二十六日 同	同年三月二十六日 同	同年三月二十六日 同	同年八月二十七日 同	同年八月二十七日 同	同年八月二十七日 同	
古井 八十太郎	倉持 吉太郎	酒井 八十郎	村上 秋太郎	淺野 小太郎	吉松 嘉太郎	山田 友太郎	武田 善太郎	武田 善太郎	武田 善太郎	藤川 長太郎	上岡 芳太郎	上岡 芳太郎	上岡 芳太郎	上岡 芳太郎	上岡 芳太郎	岡本 品太郎	岡本 品太郎	岡本 品太郎	
同年九月九日 同	同年三月十一日 賣	同年九月二十六日 同	同年十一月三十日 書	同年六月十五日 家督相續	同年十月六日 同	同年四月八日 同	同年一月十五日 賣	同年五月五日 同	同年一月十五日 同	同年一月二十五日 同	同年二月二十六日 書	同年二月二十三日 同	同年五月二十六日 賣	同年七月八日 家督相續	同年七月八日 同	同年七月十五日 遺產相續	同年七月十六日 家督相續	同年八月九日 同	
谷川 源次郎	高橋 定次郎	安岡 伊次郎	橋本 伊次郎	宮崎 伊次郎	宮崎 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎	山本 伊次郎
同年四月二十一日 賣	同年一月二十七日 書	同年五月五日 賣	同年五月七日 賣	同年四月四日 同	同年九月十七日 家督相續	同年九月二十日 書	同年四月二十日 同	同年九月二十日 同	同年四月二十八日 同	同年九月二十六日 同	同年十二月二十八日 同	同年二月三日 賣	同年十月二十一日 家督相續	同年二月二十一日 書	同年二月二十一日 書	同年四月十二日 賣	同年四月十二日 賣	同年四月十二日 賣	同年四月十二日 賣
山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎	山崎 文太郎

同年七月十五日 家督相續	同年七月十八日 同	同年九月十六日 同	同年九月二十八日 書	同年十月十一日 同	同年十月二十一日 家督相續	同年十月二十七日 賣	同年十二月九日 同	同年三月四日 同	同年一月二十日 家督相續	同年十月五日 書	同年八月九日 同	同年九月二十二日 同	同年十月十二日 同	同年十月三十日 同	明治三十二年一月十四日 書	同年一月二十五日 賣	同年二月一日 同			
武内 和太郎	岡林 道之助	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	沖元 米太郎	
同年二月七日 同	同年三月八日 書	同年一月十一日 賣	同年三月六日 同	同年一月二十六日 同	同年二月二十日 同	同年三月二十七日 同	同年一月十八日 家督相續	同年二月二日 書	同年二月二日 書	同年二月二日 書	同年二月二日 書	同年四月二十五日 書	同年五月二十二日 家督相續	同年五月一日 同	同年二月二十日 書	同年一月十七日 賣	同年四月十八日 同	同年四月十九日 同	同年一月三十一日 書	
西野 勇次郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎	小川 嘉太郎
同年一月三十一日 同	同年四月六日 同	同年二月七日 賣	同年四月十二日 同	同年四月十四日 同	同年四月二十七日 同	同年三月三十日 書	同年一月二十五日 同	同年二月六日 賣	同年二月二十日 書	同年三月十日 同	同年三月十日 同	同年三月三十一日 同	明治三十一年一月十二日 書	同年七月十一日 遺產相續	同年七月二十七 賣	同年二月二十七日 賣	同年二月二十七日 賣	同年二月二十七日 賣	同年二月二十七日 賣	同年二月二十七日 賣
上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎	上野 忠太郎

○司法省告示第十九號

茨城縣那珂郡大宮町戶籍役場備附ノ戶籍簿ノ一部明治四十二年十一月二十九日滅失シタリ

明治四十三年四月十九日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十號

東京府北多摩郡國分寺村戶籍役場明治四十三年三月三日火災ニ罹リ身分登記簿、戶籍簿、後見人名簿其他役場ニ保存スル書類焼失シタルニ付キ左ノ各號ニ該當スル者ハ明治四十三年七月十七日迄ニ更ニ同村戶籍吏ニ届出ヲ爲シ又ハ書類ノ送付ヲ爲スヘシ

但届出ヲ爲スニ付キ詳細ノ手續ハ同村戶籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ

第一 明治三十一年七月十六日ヨリ本年三月三日迄ノ間ニ於テ同村戶籍吏ニ戶籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者及ヒ戶籍ニ關スル届書ノ副本ヲ送付シ又ハ送付ヲ受ケタル者

第二 明治四十三年一月十五日ヨリ同三月三日迄ノ間ニ於テ身分ニ關スル届出、届書ノ正本又ハ副本ノ送付、申請、報告、請求等ヲ爲シタル者

第三 明治三十一年七月十六日ヨリ同四十二年三月三日迄ノ間ニ於テ同村戶籍吏ニ入籍通知ヲ爲シタル者

第四 戶籍法施行前同村役場ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者
前各號中第一號及ヒ第二號ノ届出ノ正本又ハ副本ハ戶籍吏戶籍役場又ハ監督區裁判所ニ保存スルモノニ付キ之ヲ隣寫シ送付スヘシ第四號ノ届出ハ戶籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ

明治四十三年四月十九日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十一號

東京府北多摩郡國分寺村役場明治四十三年三月三日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付キ現ニ

同村ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他ニ出寄留中ノ者ハ明治四十三年七月十七日迄ニ明治十九年内務省令第十九號寄留者届出ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同村長ニ届出ツヘシ

明治四十三年四月十九日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十二號

富山縣射水郡新湊町戶籍役場備付ノ明治三十八年分本籍人身分登記簿家督相續之部明治四十三年三月三日紛失シタリ

明治四十三年四月二十三日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十三號

茨城縣猿島郡新郷村戶籍役場明治四十三年三月十六日火災ニ罹リ同役場備付ノ戶籍簿焼失シタリ

明治四十三年四月二十三日

司法大臣 子爵岡部長職

○文部省告示第百一十一號
小學校教科用圖書翻刻發行ニ關スル規程ニ依リ翻刻發行ヲ許可スル小學校教科用圖書ニシテ明治四十三年四月ヨリ使用セシムヘキモノノ中左記圖書ノ定價ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治四十三年四月一日

文部大臣 小松原英太郎

尋常小學校修身掛圖	定價金 二圓	尋常小學校 第一學年教師用	定價金 七圓
尋常小學校修身掛卷一兒童用	定價金 三圓五匁	尋常小學校 第二學年教師用	定價金 七圓
尋常小學校修身掛卷二兒童用	定價金 四圓五匁	尋常小學校 第三學年教師用	定價金 七圓
尋常小學校讀本卷九	定價金 九圓	尋常小學校 第四學年教師用	定價金 八圓
尋常小學校讀本卷十一	定價金 十圓	尋常小學校 第五學年教師用	定價金 八圓
尋常小學校讀本卷十二	定價金 七圓	尋常小學校 第六學年教師用	定價金 八圓
尋常小學校 第一學年甲種乙種 算術掛圖	定價金 各金 三圓	尋常小學校 第三學年兒童用	定價金 七圓
尋常小學校地理卷一兒童用	定價金 七圓	尋常小學校 第四學年兒童用	定價金 七圓

同	第五學年兒童用	定價金六錢五厘	尋常小學第一學年教師用	定價金二十三錢
同	第六學年兒童用	定價金六錢五厘	新定畫帖	定價金二十二錢
尋常小學	第三學年兒童用	定價金六錢	同	定價金二十錢
尋常小學	第四學年兒童用	定價金六錢五厘	同	定價金十八錢
尋常小學	第五學年兒童用	定價金七錢	同	定價金二十八錢
同	第五學年男生用	定價金八錢	尋常小學	定價金二十三錢
同	第五學年女生用	定價金八錢五厘	新定畫帖	定價金七錢
同	第六學年男生用	定價金八錢	同	定價金六錢五厘
同	第六學年女生用	定價金八錢五厘	同	定價金十錢
尋常小學	第三學年兒童用	定價金六錢五厘	同	定價金七錢
尋常小學	第四學年兒童用	定價金七錢五厘	同	定價金八錢
同	第五學年男生用	定價金七錢五厘	同	定價金九錢五厘
同	第五學年女生用	定價金六錢	同	定價金八錢
同	第六學年男生用	定價金八錢五厘	高等小學	定價金九錢五厘
同	第六學年女生用	定價金七錢五厘	高等小學	定價金八錢
同	第六學年女生用	定價金七錢五厘	高等小學	定價金八錢

○文部省告示第百十二號

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

明治四十三年四月一日

○文部省告示第百十三號

和歌山縣日高郡湯川村ニ設置セル和歌山縣日高郡湯川村外七箇村學校組合立日高第一實業學校ヲ
 明治四十三年四月ヨリ郡立トナシ和歌山縣日高郡立日高第一實業學校ト改稱シ其ノ位置ヲ同郡御
 坊町ニ變更ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第百十四號

明治四十三年四月一日

青森縣立弘前中學東興義塾ヲ明治四十七年三月三十一日限廢止ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第百十五號

明治四十三年四月一日

千葉縣君津郡立木更津高等女學校ヲ千葉縣君津郡木更津町ニ設置シ明治四十三年四月ヨリ開校ノ
 件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第百十六號

明治四十三年四月五日

愛知縣豐橋市ニ設置セル私立三河中學校ハ明治四十三年四月三十日限閉鎖ヲ命セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第百十七號

明治四十三年四月六日

大阪府北河内郡門真村外七箇町村組合立河北高等女學校ノ費用負擔者ヲ變更シ明治四十三年四月
 ヨリ大阪府北河内郡門真村外十四箇町村組合立河北高等女學校ト改稱ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第百十八號

明治四十三年四月六日

東京府東京市神田區仲猿樂町ニ商業學校規程乙種組織ニ依リ私立東京女子商業學校ヲ設置シ明治
 四十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第百十九號

明治四十三年四月六日

富山縣西礪波郡石動町ニ設置セル石動町立徒弟學校ノ名稱ヲ石動町立石動實業學校ト變更ノ件認
 可セリ

文部大臣 小松原英太郎

明治四十三年四月六日

- 二 非イックリッド幾何學 每週三時
- 三 素數ニ關スル問題 每週四時
- 四 動徑ノ四則ト三角法 每週四時
- 五 附屬學校及諸學校參觀指導 每週一回
- 六 教育學一斑 每週三時

英語科講習要目(廣島高等師範學校)

- 一 英語學史 每週五時
序論—アングロサクソン時代—ノルマン、コンクエスト—近代英語—結論
- 二 英語應用音韻學 每週五時
序論—發音機能難談—分解音子音及母音各說—綜合上生スル諸音ノ變化附一語發音上ノ注意
- 三 音讀法及教科書質問 每週五時
等—發音演習口答—外國語教授法諸形式概觀
- 四 教育演習 教師 ピー、エー、スミス
- 實地授業及研究批評 每週五時 教諭 野上 源造
外當校關係職員
- 講話 每週凡一回 當 校 教 官

教育—心理—英國事情等

○文部省告示第四百二十三號
長野縣埴科郡坂城町ニ農業學校規程乙種組織ニ依リ長野縣組合立埴南農蠶學校ヲ設置シ明治四十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十三年四月九日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四百二十四號
福岡縣嘉穂郡飯塚町ニ徒弟學校規程ニ依リ嘉穂郡立技藝女學校ヲ設置シ明治四十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十三年四月九日 文部大臣 小松原英太郎

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス
○文部省告示第四百二十五號
山口縣知事ハ下關測候所構内暴風雨標破損ノ處本年四月十五日ヨリ信號揚卸開始ノ旨届出メリ
明治四十三年四月十一日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四百二十七號
私立德島縣教育會附屬圖書館ヲ同縣德島市大字德島町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
明治四十三年四月十三日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四百二十八號
私立知多郡教育會第一會附屬圖書館ヲ愛知縣知多郡半田尋常高等小學校内ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
明治四十三年四月十三日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四百二十九號
滋賀縣高島郡青柳村ニ設置セル高島郡立藤樹文庫ヲ高島郡立藤樹圖書館ニ同縣同郡今津町ニ設置セル高島郡立藤樹文庫今津支庫ヲ高島郡立藤樹圖書館今津支館ニ改稱ノ旨設立者ヨリ開申セリ
明治四十三年四月十六日 文部大臣 小松原英太郎

明治四十三年四月十三日 文部大臣 小松原英太郎

○農商務省告示第七十六號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十三年四月一日

栃木 下都賀 南大綱 大字 上田 北及川
農商務大臣 小松原英太郎
地番 11310

○農商務省告示第七十七號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十三年四月一日

栃木 下都賀 南大綱 大字 上田 北及川
農商務大臣 小松原英太郎
地番 11310

○農商務省告示第七十八號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十三年四月一日

栃木 下都賀 南大綱 大字 上田 北及川
農商務大臣 小松原英太郎
地番 11310

○農商務省告示第七十九號
森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス
明治四十三年四月四日

愛媛 越智 湍浦 大字 高橋 網掛
農商務大臣 小松原英太郎
地番 100000

○農商務省告示第八十號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十三年四月四日

愛媛 越智 湍浦 大字 高橋 網掛
農商務大臣 小松原英太郎
地番 100000

字	地番	面積	同中村大字下河原田	川原地	同大字駒生	同	同	同
栃木縣下都賀郡赤麻村大字大前	2,888	5,928	1,000	7,928	同	同	同	2,928
稻荷林	3,192	3,617	875	3,742	同	同	同	2,928
同高岡町大字藤岡	5,959	822	1,151	2,997	同河内郡豊岡村大字作原	同	同	2,928
山合	5,959	822	1,151	2,997	同河内郡豊岡村大字作原	同	同	2,928
同寒川村大字境	1,218	1,219	570	1,788	石神殿	同	同	2,928
合ノ田	1,218	1,219	570	1,788	同大澤村大字刺澤	同	同	2,928
同水代村大字伯仲	2,690	2,690	338	3,028	同大澤村大字刺澤	同	同	2,928
新藤敷	2,690	2,690	338	3,028	同大澤村大字刺澤	同	同	2,928
同水代村大字伯仲	2,690	2,690	338	3,028	同大澤村大字刺澤	同	同	2,928
新藤敷	2,690	2,690	338	3,028	同大澤村大字刺澤	同	同	2,928

○農商務省告示第八十一號
森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ三重縣知事ニ於テ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セス
明治四十三年四月四日

三重 朝日 大字 大谷
農商務大臣 小松原英太郎
地番 610

○農商務省告示第八十二號
森林法ニ依リ左記區域内ニアル森林ノ開墾制限ヲ解除ス
明治四十三年四月四日

福井縣南條郡北山山村
農商務大臣 小松原英太郎

○農商務省告示第八十三號
明治四十三年三月二十八日免許漁業原簿ニ左記事項ヲ登録セリ
明治四十三年四月四日

免許番號第六七三號專用漁業權者ノ代表者ヲ明治四十二年三月二日長崎縣上縣郡仁田村大字越高
百六十八番地本多又治ニ變更ス

登錄番號第一二八號入漁權者ノ代表者ヲ明治四十二年二月十七日長崎縣上縣郡仁田村大字志多留
七十番戶中山龍ニ變更ス

文部省開設美術展覽會ニ出品シテ受賞シタル物品ハ鑑査ニ合格シタルモノト看做ス但シ必要ノ場合ニハ鑑査ヲ受クル物品ニ準シテ一定ノ場所ニ其ノ物品ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 第三條ノ出品出願人ニレテ出品ノ許可ヲ受ケタル者ハ第四號書式ノ出品入記目錄三通ヲ調製シ解説書二通ヲ添ヘ出品物輸送七日前迄ニ農商務省ニ差出スヘシ

第七條 普通出品ノ解説書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 住所職業氏名
 - 二 產地又ハ製造地
 - 三 一箇年間ノ產額及製造額
 - 四 外國へノ輸出額及輸出先
 - 五 工場及職工ノ數
 - 六 物質製法用途效能及特徴
 - 七 受賞レタル主ナル褒賞
 - 八 前各號ノ外鑑査ヲ受クルニ付キ必要ト認ムル事項
- 美術品ノ解説書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 住所氏名
 - 二 命題ノ説明(傳記考證其ノ他命題ノ由來)
 - 三 製作ノ年月
 - 四 履歷(流派師傳其ノ他修業履歷等)
 - 五 褒賞
 - 六 他人ノ製作ニ係ル美術品ナルトキハ製作者ノ住所氏名及其ノ履歷ノ大體

第七 前各號ノ外鑑査又ハ審査ヲ受クルニ付キ必要ト認ムル事項

第八條 普通出品ノ輸送ハ明治四十四年一月十日ヲ限リトス

第九條 農商務省ハ出品物ノ紛失其ノ他ノ損害ニ對シテハ一切其ノ責ニ任セズ

第十條 農商務省ハ全國ヲ通シテ一團體ヲ爲セル出品管理者ニシテ農商務省ノ認可ヲ受ケタル者ニ限り相當ノ補助金ヲ給シ左ノ事項ヲ處辨セシムルモノトス但シ出品人ハ自辨ヲ以テ出品ノ陳列ニ要スル陳列箱陳列臺及裝飾ニ關スル設備ヲ爲スコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於テハ出品人ハ

- 一 陳列館ノ設備裝飾及陳列箱陳列臺ノ調製
- 二 出品ノ輸送通關荷解陳列荷造(積戻ノ場合)及積戻ニ關スル事務
- 三 出品ノ保管説明販賣及空箱ノ保管ニ關スル事務
- 四 出品ノ紹介ニ關スル事務
- 五 出品入記目錄解説書其ノ他ノ反譯ニ關スル事務
- 六 出品審査ニ關スル補助事務

前項ノ團體ハ出品人ヨリ出品ニ關スル事務ノ管理ヲ委託セラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條 美術品ノ出品ニ要スル荷造運賃保險料及陳列裝飾ニ關スル費用ハ出品人ニ於テ負擔スルコトヲ要セス但レ出品人ノ自辨ヲ以テ特殊ノ陳列裝飾ヲ爲スコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於テハ出品出願ノ際農商務省ニ申出ツヘシ

第十二條 出品人自ラ出品ニ關スル事務ヲ處理スルトキハ其ノ旨農商務省ニ届出ヘシ

第十三條 出品人及出品管理者ハ出品ニ關スル一切ノ事務ニ付農商務省ノ指揮監督ヲ受クヘシ

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ出品ノ輸出若ハ陳列ヲ差止メ又ハ適宜ノ處分ヲ爲スコ

- トアルヘシ
- 一 許可セサル物品ヲ出品シタルトキ
 - 二 許可シタル數量以上ノ出品ヲ爲シタルトキ
 - 三 出品カ腐敗融解等ヲ爲陳列ニ適セスト認ムルトキ
 - 四 本則其ノ他本博覽會ニ關スル内外ノ諸規則及出品ニ關スル命令等ニ違反シタルトキ
 - 第十五條 出品ハ命令又ハ許可ニ依ル場合ノ外閉會迄之ヲ撤去スルコトヲ得ス
 - 第十六條 本則其ノ他本博覽會ニ關スル内外ノ諸規則、出品ニ關スル命令又ハ處分ニ對シ出品人ハ異議ノ申立ヲ爲シ又ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
 - 第十七條 出品人ハ本則其ノ他本博覽會ニ關スル内外ノ諸規則並命令ヲ遵守スヘシ
- 出品人ニシテ前項ノ規則又ハ命令ニ依ル義務ヲ履行セサルトキハ農商務省ハ適宜ノ處分ヲ爲シ且ツ之カ爲ニ要シタル費用ヲ本人ヨリ追徴スルコトアルヘシ

第一號書式(美濃紙半折)

出品願

私儀伊太利萬國博覽會ニ關スル内外ノ諸規則ヲ遵守シ別紙目錄ノ通出品致度候間御許可相成度此段相願候也

年月日

農商務大臣宛

住所及職業

氏名

第二號書式(美濃紙半折)

出品目錄

第部	番號	品名	物質	形狀	模樣	數量	陳列	容積	原價	實價	價記
合計											

住所 職業

出品人 氏名

第三號書式(美濃紙半折)

美術品出品願

私儀伊太利萬國博覽會ニ關スル内外ノ諸規則ヲ遵守シ別紙目錄ノ通出品致度(會ハ本博覽會ニ關スル命令等ニ違反シタルトキ)候間御許可相成度此段相願候也

年月日

農商務大臣宛

住所

氏名

第四號書式(美濃紙半折)

出品入記目錄

第部	番號	品名	物質	形狀	模樣	數量	陳列	容積	原價	實價	價記
合計											

住所 職業

出品人 氏名

北浦 三三六五	同射和村大字中夜 七三二	同松尾村大字西野 一四五六	同大字岡本 六六二	同大河内村大字笹川 一六六六	只越 一六六六	宮脇 六七八	同大字大津 九四二	大明神 九四二	同粥見村大字粥見 九四二	生邊 九四二	同大字向粥見 九四二	中山 一三九〇	同宮前村大字作瀧 一八七一	山下 一八七一	同大字赤桶 二三八	片栗子 二三八	同森村大字青田 二三八	古瀬町 二三八	同名賀那瀬川村大字柏原 二三八	宮城 二三八	同古山村大字東谷 二三八	平尾 一八六六	同大字一ノ井 二二二	堂ノ前 四七七	
同鈴鹿郡龜山町大字住山 一〇三三	同江ノ野山 九〇四二	同今渡 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	同同同 九〇四二	
同高津濱村大字高宮 三三八	同垣内 三三三	同深伊瀬村大字長澤 二二五	同北野 九〇六	同野登村大字邊法寺 一四七	同西久保 一四七	同白川村大字小川 一四七	同堂 二二六	同加太村 二二六	同河野郡一身田村大字上津部田 一七〇	同北在家 五八八	同河野郡一ノ坪 一七〇	同高野尾村 一七〇	同中町 四八八	同新町 四八八	同坂本村 三三九	同殿町 三三九	同若松村大字北若松 三三九	同深田 一七六	同黒田村大字南黒田 三三九	同河野 三三九	同同同 三三九	同同同 三三九	同同同 三三九	同同同 三三九	同同同 三三九
同白塚村 五三三	同境 五三三	同波新田 五三三	同北永定 五三三	同南永定 五三三	同小山 五三三	同子 五三三	同天 五三三	同飯南郡神戶村大字垣鼻 五三三	同大保田 五三三	同花岡村大字山室 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	同同同 五三三	

○農商務省告示第九十二號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十三年四月十二日

高知縣安藝郡羽根村 町界取歩 一五八〇	同香美郡岸本町 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇
同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇
同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇
同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇	同同同 町界取歩 一五八〇

同六ヶ所村大字泊	九五〇九	同田名部町大字田名部	一四〇六	同三月郡淺田村大字淺水	九八三三	同大字笹原町	七三二一	
川原 一五八一	同十二林 八三二	同大畑村大字正津川	一四〇六	淺水 七〇二	同弘前市大字新寺町	二八二九	同大字笹原町	七三二一
同下北郡大畑村大字大畑	二五二八	同根橋村 六一	五七二八	同弘前市大字新寺町	一〇八二	同大字笹原町	七三二一	
大赤川 二七二	二五二八							

○農商務省告示第九十四號
 明治四十三年四月八日左記専用漁業權者ノ代表者ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

明治四十三年四月十三日

漁業權者ノ代表者ノ名務住所
 石川縣鳳至郡野村大字大川、大川漁業組合

○農商務省告示第九十五號
 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年四月十三日

農商務大臣

小松原英太郎

字 地番 面積	同山佐村大字下山佐	三〇六	同波入村大字通江	四〇三	同 三六〇	二、六三〇
島根縣八束郡美濃村大字佐々布	同小坪右 三五九	三〇六	宮ノ谷 一、三二	同大字入江	同 三六〇	八三〇
森山 三三九二	同山神 三三九	三三三	同美保村大字美保	同美保村大字美保	三三〇	八〇六
同川津村大字上東川津	同仁多郡温泉村大字湯村	四〇七	同美保村大字美保	同美保村大字美保	三三〇	八〇六
同大字西川津	同仁多郡温泉村大字湯村	一〇〇六	同美保村大字美保	同美保村大字美保	三三〇	八〇六
同本庄村大字上字部尾	同美保村大字美保	二〇〇〇	同美保村大字美保	同美保村大字美保	三三〇	八〇六
同朝陽村大字朝陽	同美保村大字美保	二〇〇〇	同美保村大字美保	同美保村大字美保	三三〇	八〇六
同能登郡能登村大字能登	同美保村大字美保	二〇〇〇	同美保村大字美保	同美保村大字美保	三三〇	八〇六
外能登 二六六二	同美保村大字美保	二〇〇〇	同美保村大字美保	同美保村大字美保	三三〇	八〇六

同國富村大字國富	一〇八	同 一八三〇	同鏡手村大字木部	一八〇〇	同邑智郡市木村	一、三三二
同山西村大字阿宮	二二四	同 一八三〇	同飯石郡中野村大字中野	七二	同邑智郡市木村	一、三三二
同松山村大字多久谷	一〇三	同 一八三〇	同飯石郡中野村大字中野	七二	同邑智郡市木村	一、三三二
同大字阿宮	四〇四	同 一八三〇	同飯石郡中野村大字中野	七二	同邑智郡市木村	一、三三二
同山西村大字阿宮	二二四	同 一八三〇	同飯石郡中野村大字中野	七二	同邑智郡市木村	一、三三二
同松山村大字多久谷	一〇三	同 一八三〇	同飯石郡中野村大字中野	七二	同邑智郡市木村	一、三三二
同大字阿宮	四〇四	同 一八三〇	同飯石郡中野村大字中野	七二	同邑智郡市木村	一、三三二
同美濃郡高津村大字須子	一三二	同 一八三〇	同飯石郡中野村大字中野	七二	同邑智郡市木村	一、三三二
同美濃郡高津村大字須子	一三二	同 一八三〇	同飯石郡中野村大字中野	七二	同邑智郡市木村	一、三三二
同美濃郡高津村大字須子	一三二	同 一八三〇	同飯石郡中野村大字中野	七二	同邑智郡市木村	一、三三二

○農商務省告示第九十六號
 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年四月十三日

農商務大臣

小松原英太郎

兵庫 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者
同 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者
同 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者
同 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者
同 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者
同 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者
同 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者
同 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者
同 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者
同 明石 明石	大町石村	大字	大蔵院敷地	面	所有者

縣	郡	村	大字	字	地番	面積
島根	美濃	鐵手	土田	北ノ濱	七五二	一八〇〇
同	八束	佐太	武代	砂留	三七二	一七三五
同	同	荒木	北荒木	高濱	一八六八四	一七三三
同	同	同	同	同	一八六八六	一七三三
同	同	同	同	同	一八六八六	一七三三
同	同	同	同	同	二二四九二	一七三三
同	飯石	五十區	同	同	一八六八六	一七三三
同	同	松笠	同	同	二二四九二	一七三三
同	同	同	同	同	一八六八六	一七三三
同	同	同	同	同	二二四九二	一七三三

○農商務省告示第二百三號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年四月十四日

縣

郡

村

大字

字

地番

面積

山梨

北都留

縣

四方津

奥平道上

一八九七

三〇六

○農商務省告示第二百四號

伊太利萬國博覽會出品協會設立ノ件左記規則ヲ添へ發起人總代男爵武井守正ヨリ申請アリタルニ依リ伊太利萬國博覽會出品規則第十條ノ全國ヲ通シテ一團體ヲ爲セル出品管理者ニ相當スルモノト認メ本月十三日其ノ設立ヲ認可セリ

明治四十三年四月十五日

農商務大臣 小松原英太郎

伊太利萬國博覽會出品協會規則

第一條 本會ハ農商務大臣ノ指揮監督ヲ受ケ出品ニ關スル左ノ事務ヲ取扱ヒ出品人ノ便利ヲ圖ル

ヲ以テ目的トス

- 一 陳列館ノ設備裝飾及陳列箱陳列臺ノ調製
 - 二 出品ノ輸送運搬荷解陳列荷造(積戻ノ場合)及積戻ニ關スル事務
 - 三 出品ノ保管、説明、販賣及空箱ノ保管ニ關スル事務
 - 四 出品ノ紹介ニ關スル事務
 - 五 出品入記目錄解説書其ノ他ノ反譯ニ關スル事務
 - 六 出品審査ニ關スル補助事務
- 第二條 本會ハ伊太利萬國博覽會出品協會ト稱ス
 - 第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク但シ必要ノ地ニ出張所ヲ置クコトアルヘシ
 - 第四條 本會ハ博覽會閉會後事務ノ完結ヲ期限トシテ解散ス
 - 第五條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク
 - 會長 一名
 - 理事長 一名
 - 理事 二名
 - 事務員 若干名
 - 第六條 本會ニ商議員ヲ置キ發起人ヲ以テ之ニ充ツ
 - 第七條 會長ハ發起人中ヨリ互選シ農商務大臣ノ認可ヲ受クルモノトス
 - 理事長以下ハ會長之ヲ囑託若ハ任命シ農商務大臣ノ認可ヲ受クルモノトス
 - 第八條 會長ハ本會ヲ代表シ一切ノ事務ヲ統理ス事故アルトキハ理事長又ハ理事ニ其ノ事務ヲ代